

# 令和2年度シラバス（国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	現代文B	単位数	3単位	学年(コース)	3学年(商業関連学科)
使用教科書	精選 現代文B 改訂版(三省堂)				
副教材等	新装版 現代文読解WORKSレッスン2(尚文出版) 国語必携ライトパーフェクト演習三訂版(尚文出版)				

## 1 学習目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

## 2 指導の重点

- ①文章を的確に理解し、適切に表現するための言語事項を身につける。
- ②文章の種類に応じて論理の構成や表現の工夫に注意して読むことで、内容を的確に理解し自分の考えを深める。
- ③言語を用いて自分の考えを他者に伝えるための効果的な方法を学び、適切に表現する力を身につける。

## 3 学習計画

期	単元・教材	学習内容	時間
1 学期	中間 評論「わかりやすいはわかりにくい？」 小説「鞆」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わからないまま正確に対処する」ことの大切さを、想定される場面の違いによって理解する。</li> <li>・「思考の肺活量」というキーワードを踏まえ哲学的論考を捉える。</li> <li>・物語の寓話的意味(「鞆」の意味)を理解するとともに、この物語が投げかけている問題について考える。</li> </ul>	38
	期末 評論「身体〈の〉疎外」 評論「病と科学」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テクノロジーの発達によって、身体が私たちの心や意識を支配し、かつ疎外しているという論理を読み取る。</li> <li>・「バイオメトリックス認証」や脳科学の発展における問題点を考える。</li> <li>・人間が「科学」とどのように向き合うべきかについての理解を深めた上で、自分の考えを整理する。</li> <li>・文章構成に着目して論旨をまとめることを通して、人々の科学信仰の結果どのような事態が生じたか理解し、現代の医療の問題点について考える。</li> </ul>	
2 学期	中間 評論「判断停止の快感」 小説「飛行機で眠るのは難しい」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「きれい」という言葉の二通りの意味を理解し、現代の「清潔願望」が異分子を排除する「快樂としての清潔」であることを理解する。</li> <li>・「男」の物語を聴くことによって生じた「私」の変化を理解し、「眠りの物語」の意味について考える。</li> </ul>	45
	期末 評論「南の貧困／北の貧困」 評論「虚ろなまなざし」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードや文章構成に着目して論旨をまとめることを通して、筆者の主張を読解し、現代社会の問題点について考える。</li> <li>・一枚の写真から生まれた筆者の問題意識と主張を理解することを通して、「ヒューマニズム」という言葉で語られる行動の主体化の功罪について考える。</li> </ul>	

3 学 期	評論「忘れられる権利」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の問題意識を把握し、その論理の展開を理解する。</li> <li>・筆者の意見に基づいて、他の社会的事象へ敷衍する。</li> </ul>	29
-------------	-------------	---	----

計112時間(47分授業)

#### 4 課題・提出物等

<p>副教材は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①定期考査の範囲に含める。</li> <li>②長期休業中の課題として用い、課題テストの範囲に含める。</li> <li>③小論文対策のトレーニング用に用いる。</li> </ul> <p>など、さまざまな方法で用いるので、授業担当者の指示をよく聞いて学習に役立てること。また、提出を要する場合は遅滞なく提出すること。</p>
---

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の5つの観点から行う。	
関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
<p>このため、評価は具体的には次のものを対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年5回の定期考査</li> <li>・授業で活用するプリントへの取り組みや、その提出状況</li> <li>・長期休暇に出題される課題への取り組みや、その提出状況</li> <li>・学習への参加状況</li> </ul> <p>1年間の評価は、年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。</p>	

#### 6 担当者からの一言

<p>「現代文B」では、様々な文章を読み解くことを通していろいろな角度から現実を見つめ、自分の意見を持つことを大きなねらいとしています。特に、3年生では評論文を中心に学び、現代社会の諸事象に現れる問題点についての考察を深めていきます。受け身ではなく、自ら学ぶ姿勢を持って授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することを心掛けてください。また、授業を通して身につけた姿勢を日常生活にも生かし、積極的に言葉や社会と関わり、幅広い視野を持つ努力をしましょう。</p>
---

# 令和2年度シラバス (地理歴史)

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	地理歴史(世界史A)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年(商業関連学科)
使用教科書	『新版 世界史A 新訂版』(実教出版)				
副教材等	『世界史のパビリオン』(とうほう)				

## 1 学習目標

近現代史を中心とする世界の歴史を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。

## 2 指導の重点

- ① 自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりについて考察する活動を通して、地理と歴史への関心を高める。
- ② 16世紀以降の世界商業の進展及び資本主義の確立を中心に、世界が一体化に向かう過程を理解させる。その際、世界の動向と日本とのかかわりに着目させる。
- ③ 地球規模で一体化した構造を持つ現代世界の特質と展開過程を理解させ、人類の課題について歴史的観点から考察させる。

## 3 学習計画

学期	単元名	学習活動(指導内容)	時間
一学期 中間	第Ⅰ部 ユーラシアの諸文明 第1章 ユーラシアの諸文明と交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国を中心とする東アジア世界、インドを中心とする南アジア世界、古代オリエントを中心とする西アジア世界について、それぞれの成立過程を学ぶ。</li> <li>・ギリシア、ローマ世界の文化とキリスト教の成立について理解する。</li> <li>・イスラームの成立とそのひろがりについて把握する。</li> </ul>	13
一学期 期末	第Ⅱ部 一体化する世界と日本 第2章 一体化に向かう世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西ヨーロッパにおけるルネサンスと宗教改革の意義、および、それとともにうスペイン、ポルトガルの海外進出について学ぶ。</li> <li>・近世ヨーロッパの主権国家体制が成立する過程と諸国の抗争を学ぶ。</li> <li>・オランダ、イギリス、フランスを中心とするヨーロッパ諸国の貿易の特徴を把握する。</li> <li>・オスマン帝国をはじめとするイスラーム王朝の繁栄を理解する。</li> </ul>	13
二学期 中間	第3章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命の歴史的意義とその過程を理解する。</li> <li>・19世紀ヨーロッパ・アメリカ社会を通して自由主義と国民主義が進展していく様子を学ぶ。</li> <li>・オスマン帝国の弱体化やムガル帝国の崩壊などを通して、ヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容を学ぶ。</li> <li>・アヘン戦争やアロー戦争などにより伝統的な国際秩序が崩壊していく過程を通して、ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、日本の対応を学ぶ。</li> </ul>	15
二学期 期末	第Ⅲ部 地球社会と日本 第4章 現代世界のあゆみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、それらによる国際秩序の変化を学ぶ。</li> <li>・アメリカの大衆生活とその波及を通して、20世紀初頭の変化を学ぶ。</li> <li>・インド・中東及び東アジアの民族運動を通して、アジアのナショナリズムの動きを学ぶ。</li> <li>・第二次世界大戦の原因や、総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察する。</li> </ul>	15

学 年 末	第5章 第二次世界大戦後の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を学び、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国がかかえる問題について考察する。</li> <li>・1970年代以降は市場経済の世界化、アメリカとソヴィエト連邦のゆらぎから世界が大きく変容し、今日に至っていることを学ぶ。</li> <li>・冷戦終結後の世界の政治・経済の動向を学ぶ。</li> <li>・日本が世界の諸国、諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向性などについて考察する。</li> </ul>	19
-------------	-----------------	---	----

計 75 時間 (47 分授業)

#### 4 課題・提出物等

別途指示します。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行なう。			
①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとしている。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代社会の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、追及し考察した過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な資料を選択して活用することを通じて歴史的事象を研究する方法を身に付けている。	世界の歴史についての基本的な事柄を、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
<p>以上の観点を踏まえ、以下から総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業のとりくみ姿勢 (授業態度、学習活動への参加状況など)</li> <li>2. 提出物などの内容・提出状況</li> <li>3. 定期テスト (但し、中間考査については実施しないこともある)</li> </ol>			

#### 6 担当者からの一言

上記の計画は、生徒の学習状況・理解度など諸事情に応じて変更されることもある。

# 令和2年度シラバス（地理歴史）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	地理歴史（日本史B）	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（商業関連学科）
使用教科書	『高校日本史』（山川出版社）				
副教材等	『最新日本史図表』（第一学習社）、『高校日本史ノート』（山川出版社）				

## 1 学習目標

日本史の展開を世界史的視野に立って総合的に理解するとともに、日本の文化と伝統の特色について認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

## 2 指導の重点

- ① 近代以降の日本の形成過程を、周辺地域との関わりをふまえながら、政治や社会の変遷をたどり理解させる。
- ② 近代以降に展開された日本と諸地域との外交交渉について、世界史的な視野から考察する。
- ③ 近代以降の日本文化について、各時代の文化の特色を把握し、現代の日本文化との連続性を理解させる。

## 3 学習計画

学期	単元名	学習活動（指導内容）	時間
1 学 期	第9章 近代国家の成立 1 開国と幕府の滅亡 2 明治維新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本開国の世界史的背景に留意しながら、開国の衝撃を契機として幕末の政治的激動が進行した過程を理解する。</li> <li>・倒幕派の形成から幕府の滅亡にいたる政治過程と明治新政府による中央集権体制の確立過程について理解する。</li> <li>・藩閥専制政府のもとで実行された一連の近代化政策の意義と問題点をあわせて考察する。</li> <li>・初期の対外問題、国内問題、近代文化の草創期の特質を理解する。</li> </ul>	26
	3 立憲国家の成立 4 大陸政策の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立憲政治をめぐる自由民権運動と藩閥政府との対抗関係の歴史を考察し、成立した明治憲法体制の特質を理解する。</li> <li>・日清・日露の両戦争を世界史的背景をもとに理解し、この間に進行した政治構造の変化について考察する。</li> </ul>	
2 学 期	5 近代産業の発展 6 近代の文化 第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 政党政治と大衆文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日清・日露の両戦争をへて、日本がどのような国際的立場を獲得したのか、その問題点とともに考える。</li> <li>・本格的な資本主義経済が成立したことを様々な分野について理解すると同時に、経済と社会の変化がどのような社会問題を生み出したかについて理解する。</li> <li>・第1次世界大戦の原因と結果、その世界史的意義をとらえ、日本が大戦に及ぼした影響について考える。</li> <li>・政党政治の成立過程を理解する。</li> </ul>	30
	3 恐慌の時代 4 軍部の台頭 5 第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満州事変が日本の国際的孤立をまねいたと同時に、政党政治が終焉し、軍国主義への道に進む契機となったことを理解する。</li> <li>・アジア・太平洋戦争の開戦にいたる経緯を当時の国際情勢とあわせて理解するとともに、戦争の現実について考える。</li> </ul>	

3 学 期	第11章 現代の世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非軍事化と民主化を要とする占領政策が戦後日本の政治・社会・経済の基礎を築いたこと、国民が積極的に受け入れることによって戦後改革が実現したことを理解する。</li> <li>・高度経済成長をとげる過程で日本社会が大きく変貌したこと、またアメリカのアジア政策に協力することによって日本が国際的地位を高めたことを理解する。</li> <li>・冷戦構造の崩壊による流動的な世界情勢が生まれる中で、21世紀の日本が直面している多くの課題について理解する。</li> </ul>	19
	1 占領下の改革と主権の回復		
	2 55年体制と高度経済成長		
	3 現代の情勢		

計75時間(47分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・学習の進度に応じて、小テストや練習問題等の課題を課す。
- ・視聴覚教材等を用いた場合には感想レポートを課すことがある。
- ・長期休業中の課題については別途指示する。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って追究している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、世界史的視野に立って追究し考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を、世界史的な視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。

以上の観点を踏まえ、以下から総合的に評価する。

1. 授業のとりくみ姿勢（授業態度、学習活動への参加状況など）
2. 提出物などの内容・提出状況
3. 定期テスト

#### 6 担当者からの一言

歴史は過去に学んで、現代をより深く理解し、より良い未来の創造に資するための学問です。平和な時代に生きることのできた私たちが、それをしっかりと受け継いでいくことができるように学びましょう。

2年次日本史の学習の上に立ち、近代史を深く学んでいきます。また、上記の計画は、生徒の学習状況・理解度など諸事情に応じて変更されることもあります。

# 令和2年度シラバス（公民）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	公民(政治・経済)	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（商業関連学科）
使用教科書	東京書籍 政治・経済				
副教材等	政治・経済資料（東京法令出版） 用語集 現代社会+政治・経済（清水書院）				

## 1 学習目標

民主主義の本質について理論的・体系的に理解を深めます。現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、現実の情勢を主体的に探究する態度を身につけます。現代経済のしくみを基礎的な経済理論の観点から理解するとともに、国民経済の動向および、政府の役割と日本経済が抱える課題などについて考察します。国際社会の現状と諸課題について理解し、国際社会に生きる日本の役割について考察します。

## 2 指導の重点

学習目標の理解や考察を踏まえて、現代社会の諸課題について主体的に考察するとともに公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身につけます。政治経済の基本的な問題にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考える態度を身に付けます。

## 3 学習計画

学期	単元	学習内容	時間
1 学 期 中 間	第1章 現代の政治 1節 民主政治の基本原則 ①民主政治の成立 ②基本的人権の確立 ③世界の政治体制 2節 日本国憲法の基本原則 ①日本国憲法の制定と基本原則 ②基本的人権の保障 ③平和主義	○民主政治の基本原則について、その成り立ちを理解します。 ○人権の意義と歴史的経緯および現状について理解します。 ○民主政治の主たる形態を学習します。 ○日本国憲法が保障する基本的人権について、平等権、自由権、社会権などに関する、具体的な判例に則しながらその特徴と課題について学習します ○日本国憲法の根本理念である平和主義について学習します。	20
1 学 期 末	3節 日本の政治機構 ①国会と立法 ②内閣と行政 ③裁判所と司法 ④地方自治 4節 現代政治の特質と課題 ①戦後政治と政党 ②選挙と政治意識 ③世論と政治参加	○憲法の条文を理解し、現実はどう機能しているかを学習します。 ○行政機構のしくみや権限について理解します ○裁判所の意義について現実の判例に触れながら学習します。 ○国政との関係を調べ、地方財政などの課題を考察します  ○政党の役割について考察し、歴史的経緯について理解します。 ○一票の格差と選挙制度のあり方について考えます。 ○マスメディアやインターネットの役割について考察します。	22
2 学 期 中 間	5節 現代の国際政治 ①国際政治の特質 ②国際社会と国際法 ③国際連合の役割と課題 ④戦後国際関係の展開と日本 ⑤国際政治の課題 ⑥地球環境と資源・エネルギー問題 ⑦国際社会における日本の役割 第2章 現代の経済 1節 現代の資本主義経済 ①資本主義体制の成立 ②資本主義経済の発展と変容	○国際社会の成立過程と国際法の関係について学習します。 ○国際連合の成立過程やしくみ、役割と課題について学習します。 ○戦後の日本外交や安全保障の動きを理解し、今日の国際社会における日本の役割について考えます。 ○地球環境問題と資源・エネルギー問題について考えます。 ○地球市民社会において個人として何ができるか、どう行動すべきかについて考察します。  ○資本主義経済の成立と変容を経済理論との関係でとらえます。 ○グローバル化や情報化が進む今日の資本主義経済の特徴について考察します。	22

2 学 期 末	2節 現代経済のしくみ ①経済主体と経済の循環 ②生産のしくみと企業 ③市場経済の機能と限界 ④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと機能 ⑥財政のしくみと機能 3節 日本経済の発展と産業構造 の変化 ①経済再建から高度成長へ ②オイル・ショック後の日本経済 ③日本経済の現状	○経済主体間の結びつきを考えながら、経済活動の循環について考察します。 ○資本主義経済の市場の働きと市場の失敗について理解します。 ○一国の経済規模をはかる計算方法について学習します。 ○金融・財政の基本的なしくみとともに銀行や中央銀行が果たす役割について理解します。  ○第二次世界大戦後の日本経済復興期の諸改革や高度経済成長、オイル・ショック・バブル経済とその崩壊などを理解します。 ○世界金融危機や東日本大震災後の日本経済の現状について考察します	22
3 学 期 末	4節 福祉社会と日本経済の課題 ①公害と環境保全 ②消費者問題 ③農業・食料問題 ④中小企業の現状と課題 ⑤雇用と労働問題 ⑥社会保障と福祉 5節 国民経済と国際経済 ①貿易と国際収支 ②国際経済体制の展開 ③発展途上国の経済 ④地域主義の動き ⑤グローバル化する世界経済 第3章現代社会の諸課題 1節 日本社会の諸課題 2節 国際社会の諸課題	○公害問題と政府による公害への対策の動きについて学習します。 ○消費者問題とは何か、消費者主権の意義を考察します。 ○日本農業の現状と、日本農業の課題について考察します。 ○日本の中小企業の現状と課題について考察します。 ○労働者の権利や労働組合の意義について考察します。 ○日本の社会保障制度の4つの柱について理解を深めます。  ○貿易の意義についてリカードの比較生産費説をもとに理解します。また、国際収支のとらえ方や外国為替のしくみを学習します。 ○国際通貨体制やIMF・GATT体制の変遷について理解し、保護貿易主義の台頭と国際協調の動きについて考察します。 ○EUの成立過程と現状について理解し、ASEANやAPECなどさまざまな形態をとる地域的経済統合の動きについて考察します。	26

計 112 時間 (47 分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・特になし。
- ・長期休業中の課題については別途指示する。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治経済の出来事や問題に関心を持っている。</li> <li>・自分から積極的に学ぼうとし、課題を探求しようとしている。</li> <li>・自分たちの生活をしっかりととらえ、より良いものへ改善しようとする態度や意見が見られる。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治経済での出来事を広い視野に立って考え、いろいろな立場や考え方があり、それぞれ公正に判断しようとしている。</li> <li>・自分がどのような筋道で、考えたのかを理解し、反省や思考を繰り返し判断している。</li> <li>・自分の考えや意見を正確に伝え表現することができる。</li> </ul>
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計や資料を正確に読みとることができる。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の出来事についての基本的な問題、政治経済のしくみなどをよく理解し記憶している。</li> <li>・政治経済の問題はいろいろなことが混じり合っていてできていることを理解している。</li> </ul>

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・年5回の定期考査 (予定)
- ・授業で活用するプリント
- ・学習への参加状況

また、1年間の評定は、年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。

#### 6 担当者からの一言

政治経済は今の時代に起こっている出来事、社会のしくみなどを学習し、皆さんの生活に直接関わるが多くあります。高校を卒業して困らないように、一般常識としてしっかりと学習し、自分の知識として利用できるようにしていこう。疑問などは、積極的に質問し、理解を深めていって欲しいと思います。(なお、この計画は、生徒の理解度・状況によって、計画が変更する場合があります。)

# 令和2年度シラバス (数学)

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科 (科目)	数学 (数学Ⅱ)	単位数	4単位	学年 (学科)	3学年 (商業関連学科)
使用教科書	東京書籍「数学Ⅱ Standard」(東書 数Ⅱ318)				
副教材等	東京書籍「Standard Buddy WRITE 数学Ⅱ」				

## 1 学習目標

方程式・式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分と積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を身に付ける。

## 2 指導の重点

各単元、各項目について、用語や定義など基本的な考え方を理解し、正しい記号の使い方を含め、計算のしかたを習得し、結論に至るまでの過程を的確に表現できる解答方法を身に付けることに重点を置いて学習を進めていきます。

## 3 学習計画

学期	単元名	学習活動 (指導内容)
1	1章 方程式・式と証明 (33時間) 1節 整式・分数式の計算 1 整式の乗法と因数分解 2 二項定理 3 整式の除法 4 分数式とその計算 2節 2次方程式 1 複素数とその演算 2 解の公式 3 解と係数の関係 3節 高次方程式 1 因数定理 2 簡単な高次方程式 4節 式と証明 1 恒等式 2 不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> <li>3次の乗法公式と因数分解の公式について理解する。</li> <li>二項定理をパスカルの三角形と関連づけて学習する。</li> <li>整式の割り算をすることができる。また、整式Aを整式Bで割った商Qと余りRの関係式<math>A=BQ+R</math>を見だし、この関係式から余りを求めることができる。</li> <li>分数式の約分や通分、分数式の四則計算ができる。</li> <li>数の範囲を複素数まで拡張すると、どのような2次方程式でも解の公式によって解けることや、2つの解をもつことを理解し、判別式<math>D=b^2-4ac</math>によって解の種類を分類できる。</li> <li>2次方程式の2つの解の和と積が、方程式を解かなくても解と係数の関係によって求めることができることに興味をもつ。</li> <li>因数分解や因数定理を利用したり、式の特徴を利用したりして、高次方程式を解くことができる。</li> <li>恒等式の考え、および等式の証明方法を理解する。</li> <li>不等式の性質を理解し、不等式の証明をすることができる。相加平均と相乗平均の関係を理解し、利用することができる。</li> </ul>
	2章 図形と方程式 (32時間) 1節 点と直線 1 直線上の点の座標 2 平面上の点の座標 3 直線の方程式 4 2直線の関係 2節 円 1 円の方程式 2 円と直線 3 2つの円の位置関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>直線上と平面上の2点間の距離を求めることができる。また、内分点・外分点の座標を計算によって求めることができる。</li> <li>さまざまな直線の方程式や2直線の交点を求めることができる。また、2直線が平行になる場合と垂直になる場合について理解し、それぞれの条件を求めることができる。</li> <li>図形の性質から、円の方程式を求めることができる。</li> <li>直線の方程式と円の方程式を連立させて2次方程式を解くことにより、共有点の座標を求めることができる。また、円と直線の位置関係と判別式との関連について理解する。</li> </ul>
2	3節 軌跡と領域 1 軌跡とその方程式 2 不等式の表す領域 3 連立不等式の表す領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>直線や円が、条件を満たす点の集合として表せることを理解し、軌跡の方程式を求めることができる。</li> <li>不等式で表される領域が平面の一部であることや、領域が不等式で表されることを理解する。</li> </ul>
	3章 三角関数 (27時間) 1節 三角関数 1 一般角 2 弧度法 3 三角関数 4 三角関数の性質 5 三角関数のグラフ 6 三角関数を含む方程式・不等式 2節 加法定理 1 加法定理 2 加法定理の応用 3 三角関数の合成	<ul style="list-style-type: none"> <li>弧度法により扇形の面積や弧の長さを求めることができる。</li> <li>三角関数を一般角、弧度法により定義し、三角関数と単位円との関係、三角関数の値域、三角関数の相互関係などを理解する。</li> <li>三角関数のグラフの特徴に興味をもち、その特徴を理解してグラフをかきすることができる。</li> <li>三角関数を含む方程式や不等式の解法を理解する。</li> <li>三角関数の加法定理を認識し、<math>15^\circ</math>、<math>75^\circ</math>、<math>105^\circ</math>などの三角関数の値を求めることができる。</li> <li>加法定理から2倍角の公式を導き、利用できる。</li> <li>三角関数の合成について理解し、関数の最大値・最小値に応用することができる。</li> </ul>

学期	単元名	学習活動 (指導内容)
2	4章 指数関数・対数関数 (2.2時間) 1節 指数関数 1 整数の指数 2 累乗根 3 有理数の指数 4 指数関数とそのグラフ 5 指数関数の応用 2節 対数関数 1 対数とその性質 2 対数関数とそのグラフ 3 常用対数	<ul style="list-style-type: none"> <li>指数の拡張に興味をもち、指数を正の整数から整数に拡張したときにも指数法則が成り立つことを理解する。</li> <li>累乗根の意味を理解し、簡単な計算をすることができる。</li> <li>指数を整数から有理数に拡張しても累乗が定義でき、指数法則が成り立つことを理解する。</li> <li>指数関数のグラフを利用して、実数の大小比較や方程式、不等式を解くことができる。</li> <li>対数の定義や性質を理解し、簡単な式の値を求めることができる。</li> <li>指数関数の性質と関連づけながら、対数関数の性質について理解を深め、そのグラフの特徴と性質を理解する。</li> <li>常用対数について理解を深める。</li> </ul>
3	5章 微分と積分 (3.5時間) 1節 微分係数と導関数 1 平均変化率 2 微分係数 3 導関数 4 導関数の計算 2節 導関数の応用 1 接線の方程式 2 関数の増減 3 関数の極大・極小 4 関数の最大・最小 5 方程式・不等式への応用 3節 積分 1 不定積分 2 定積分 3 定積分と面積	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均変化率が、2点を通る直線の傾きに等しいことを理解する。</li> <li>関数の平均変化率の極限值として、微分係数を求めることができる。また、微分係数を関数的にとらえ、導関数の定義を認識する。更に、簡単な整関数の導関数を計算することができる。</li> <li>微分法を用いて、接線の方程式を求めることができる。また、関数の増加・減少と導関数の正負との関係を考え、関数の増加・減少を調べることができる。</li> <li>導関数を用いて、関数の極大・極小を調べることができる。また、その結果を利用して、関数のグラフをかき、関数の最大値・最小値を求めることができる。更に、関数のグラフを利用し、方程式の解の個数を調べることや、不等式を証明することに応用できる。</li> <li>微分法の逆演算として不定積分を理解し、色々な関数の不定積分や定積分の計算ができる。</li> <li>放物線と直線などが囲む部分の面積を定積分で表せることを理解し、その定積分を計算して、面積を求めることができる。</li> </ul>

計149時間 (47分授業)

#### 4 課題・提出物等

各授業担当者の指示に従って、課題にはしっかり取り組み、提出を求められたものは必ず提出してください。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。			
①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方	③数学的な技能	④知識・理解
数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断している。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
以上の点をふまえ、定期考査・長期休業後の課題考査・提出物・授業への取り組み・出席状況などから、総合的に判断します。			

#### 6 担当者からの一言

数学を通して、様々な考え方を身につけてくれたら嬉しく思います。そして、その考え方や考える力を生かして、社会で活躍してくれるような人に成長していけるように、一緒に頑張っていきましょう。

# 令和2年度シラバス（保健体育）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	保健体育（体育）	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（商業関連学科）
使用教科書	最新高等保健体育				
副教材等	最新高等保健体育ノート				

## 1 学習目標

- ・ 運動の実践を通して、運動技能を高め、仲間とともに楽しさ・喜びを深く感じることができる。
- ・ 日頃の体調を整えるとともに、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育む。
- ・ 生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

## 2 指導の重点

- ・ 何事にも自己の能力を高めるためにも、あきらめずに取り組む姿勢を身につける。
- ・ 仲間とともに楽しさ・喜び・感動を分かち合いながら実践していく能力を身につける。
- ・ 様々な運動の特性を理解して、仲間とともに協力しながら実践し、互いに技能を高める。
- ・ 球技等のチームゲームにおいては、自己の役割を理解してチームに貢献する。
- ・ 安全に留意しながら、互いに相手を尊重して、公正な態度で試合ができるようにする。

## 3 学習計画

学期	月	学 習 内 容	時間
1 学期	4	体づくり運動（集団行動含む）	26
	5	選択Ⅰ（外・球技）	
	6	↓ ソフトボール（雨天時バスケ）・サッカー（雨天時バレー）・ソフトテニス	
	7	↓ 選択Ⅱ（外・球技） ソフトボール・サッカー・ソフトテニス	
2 学期	9	↓	30
	10	↓ 選択Ⅰ（中・球技）	
	11	↓ バスケットボール・バレーボール・卓球・バドミントン	
	12	↓	
3 学期	1	↓ 選択Ⅱ（中・球技） バスケットボール・バレーボール・卓球・バドミントン	19
	2	↓	
	3	↓	

計75時間(47分授業)

## 4 課題・提出物等

特になし（但し、長期欠席や見学等の場合は課題の提出が必要な場合もある。）

## 5 評価規準の評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 運動の楽しさや喜びを学び、自ら積極的に参加している。</li><li>・ 公正、協力、責任などの社会的態度が身についている。</li><li>・ 健康、安全に留意しながら運動を実践している。</li></ul>
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 運動の特性に応じた課題を自己やグループにおいて課題解決を目指し、工夫し活動している。</li></ul>
運動の技能	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自己・グループの能力と運動の特性に応じた課題を考慮しながら、自己・グループの技能向上を行っている。</li><li>・ 与えられた課題を克服している。</li></ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 運動の大切さを理解して、体力の向上に努めている。</li><li>・ 運動の特性、自己の体力・能力にあわせての高度の技術を理解している。</li></ul>

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

出欠席の状況  
授業中の態度（意欲）  
実技のテスト等

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容により総合的に判断して決定します。

## 6 担当者からの一言

- 1、体調管理をしっかり行い授業に臨むこと。
- 2、本校指定の体操着、内履き、外履きを着用すること。
- 3、授業開始に遅れないよう活動場所に集合、整列しておくこと。
- 4、見学をする場合は授業の1時間前に担当者に申し出指示を受けること。
- 5、貴重品は各自でしっかりと管理すること。

# 令和2年度シラバス（外国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	英語（コミュニケーション英語Ⅲ）	単位数	3単位	学年（コース）	3学年（商業関連学科）
使用教科書	Compass English CommunicationⅢ Revised（大修館書店）				
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『Compass English CommunicationⅢ Revised 学習ノート』（大修館書店）</li> <li>・『英文法・語法 Engage』（いっいずな書店）</li> <li>・『Database 3000 基本英単語・熟語 5th Edition』（桐原書店）</li> <li>・『コアレックス英和辞典 第2版』（旺文社）*推薦辞書</li> </ul>				

## 1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。

## 2 指導の重点

生徒の多様な進路希望に対応するため、英語の総合的な能力を養う。

- ①積極的に言語活動に参加し、他者とのコミュニケーションを図ろうと努める。
- ②話し合ったことや自分の考えを英語で話したり書いたりする力を養う。
- ③英語を聞いて理解し、概要や要点をつかむことが出来る。
- ④単語、熟語、文法などについてその意味や使い方を理解する。また、言語の背景にある文化を理解する。

## 3 学習計画

期	課	学 習 内 容	時間
1 学 期 中 間	<u>Unit1</u>		18
	Lesson 1	・読む前にわかること	
	Lesson 2	・パラグラフの基本構成	
	Lesson 3	・パッセージの構成	
	Lesson 4	・論説文の読み方①	
	Lesson 5	・論説文の読み方②	
	Lesson 6	・物語文の読み方	
	Lesson 7 Lesson 8	・指示語について ・読んだ後に何を学んだか振り返る	
1 学 期 期 末	<u>Unit 2</u>		20
	Lesson 1	A Black and White Beauty 〈動物・環境〉野生のパンダが絶滅の危機にあるのには様々な理由がある。 help + 0 + 動詞の原形/unless…	
	Lesson 2	Let There Be Light! 〈職業・人物〉照明デザイナーの石井幹子さんは作品にどんな思いを込めているのか。 that [those] of ~/so (that) …	
	Lesson 3	How the Kiwi Lost Its Wings 〈物語・伝説〉キウィはなぜ飛べなくなったのか。ニュージーランド、マオリ族の伝説から。 no matter how …/would rather ~ (than …)	
	Lesson 4 Lesson 5	Nature Technology 〈科学・環境〉環境に適応した優れた構造を持つ生物たち。そこから学ぶ先端技術とは。 even though …/… enough to ~ Buyology 〈メディア・広告〉広告や店舗の周到な販売戦略。「買い物学」を知って賢い消費者になる。 one … the other ~/the 比較級 ~, the 比較級 …	

2 学 期 中 間	Lesson 6	Personal Space 〈言語・コミュニケーション〉ことばのもつ、様々な社会的・文化的な機能とは。 挿入句の入った疑問文／条件節のない仮定法	22
	Lesson 7	Coffee Travels the World 〈歴史・生活〉世界中で飲まれているコーヒーはどこでどのように発見され、どうやって広まったのか。 倒置(否定語の強調)／完了形の分詞構文	
	Lesson 8	Reviving Cambodian Silk Culture 〈国際交流・伝統文化〉1人の日本人染織家が試みる、失われかけたカボジアの伝統技術の再生。 suggest + that + S + (should) + 動詞の原形／prevent + O + from + ~ing	
2 学 期 期 末	Unit 3		23
	Lesson 1	Laughter is the Best Medicine 〈健康・日常生活〉人間関係を円滑にし、健康を増進する笑いの効用とは。	
	Lesson 2	Soup for Everyone! 〈食文化〉いつの時代も、どんな場所でも、スープは人々の身体と心を温める。	
	Lesson 3	Monet's Passion for Japanese Art 〈美術・国際交流〉日本画の影響を受けた印象派の巨匠モネとその作品について。	
学 年 末	Lesson 4	Understanding the Teenage Brain 〈科学〉若者の脳の働きについて。	29
	Lesson 5	The Man Who Planted Trees 〈物語〉荒地を緑に変えたのはたった1人の男性だった。(「木を植えた男」より)	

計 112 時間 (47 分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・各定期考査時に、学習ノートの点検を実施する。
- ・単語力、熟語力をつけるために、計画的に単語テストを実施する。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
積極的な態度で言語活動に参加し、相手とのコミュニケーションを図ろうと努力している。	英語で話し合ったり意見の交換をしたりできる。情報や考えなどを英語で簡潔に書くことができる。聞き手に伝わるように英語で音読できる。	英語を聞いたり、読んだりして理解し、概要や要点をとらえることができる。	単語、熟語、文法などについて、その意味や適切な使い方を理解している。英語を使う上で必要な文化的背景について理解している。

具体的には次のものを総合的に判断し、評価します。

- ①年5回の定期考査 ②年3回の課題考査 ③通年で行う単語テスト ④授業時に実施する小テストなど  
⑤平常点(提出物、授業への参加状況等)

#### 6 担当者からの一言

英語の学習は、毎日の積み重ねが大事です。予習と復習を大切にしてください。予習では、本文を読み概要をつかみます。その後、新出語句をはじめとした意味等のわからない語句を辞書で調べてください。復習では、授業で学習した英文の内容を再確認し、授業での学習内容の定着を図ってください。英文を繰り返し音読することを薦めます。英文の意味を考えながら声に出して読むことは、話す、聞くといった表現能力だけでなく、英語の総合的な力をつける土台となります。音読を習慣化し、繰り返し練習しましょう。また、英単語や英文を書く練習も大切です。学習した語句や英文の意味を確認し、英語の発音と綴りを結びつけながら、書く練習を行ってください。継続は力なりです。授業には積極的に臨み、自己の英語力アップを図りましょう。

# 令和2年度シラバス（外国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	英語表現Ⅱ	単位数	3単位	学年(コース)	3学年(商業関連学科)
使用教科書	『Vision Quest English Expression II Ace』（啓林館）				
副教材等	『Vision Quest English Expression II Ace New Workbook』（啓林館） 『英文法・語法Engage』（いいずな書店） 『コアレックス英和辞典 第2版』（旺文社） *推薦辞書				

## 1 学習目標

- 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- 英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

## 2 指導の重点

情報や考えなどを理解し伝えることができるように、具体的な言語の使用場面を設定して、相手や目的に応じて、簡潔に話し、書き、発表する言語活動を英語で行う。

## 3 学習計画

期	単元名	学習内容	時間	評価方法
1 学 期 中 間	Lesson 1 お花見	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語の決定／見えない主語の発見／主語のit</li> <li>主語になる名詞句／形式主語／無生物主語</li> <li>自動詞と他動詞／間違えやすい自動詞と他動詞／群動詞</li> <li>SVO/SVOO</li> </ul>	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>パフォーマンステスト</li> <li>Workbook等提出物</li> <li>授業の取組み</li> </ul>
	Lesson 2 漫画の楽しみ			
	Lesson 3 京都へ観光に			
	Lesson 4 私の家族です			
1 学 期 期 末	Lesson 5 保育園での職業体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>SVC/SVOC</li> <li>使役動詞／知覚動詞</li> <li>直接話法と間接話法／間接話法で伝達</li> <li>～する／～している</li> </ul>	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>パフォーマンステスト</li> <li>Workbook等提出物</li> <li>授業の取組み</li> </ul>
	Lesson 6 サプライズパーティー			
	Lesson 7 映画のお誘い			
	Lesson 8 航空管制官になる			
	.....			
	<b>英文法・語法 Engage</b>	<b>第1章 時制</b> <b>第2章 受動態</b>		
2 学 期 中 間	Lesson 9 趣味はピアノ	<ul style="list-style-type: none"> <li>～した／～していた</li> <li>能動態と受動態／日本語との違い</li> <li>もし（今）～ならば／もし（あの時）～だったなら</li> <li>義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞</li> <li>数量を表す語句／名詞を前から修飾する語句</li> </ul>	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>パフォーマンステスト</li> <li>Workbook等提出物</li> <li>授業の取組み</li> </ul>
	Lesson 10 『タイタニック』を見て			
	Lesson 11 世界遺産の魅力			
	Lesson 12 ボランティア活動			
	Lesson 13 制服に賛成？反対？			
	.....			
	<b>英文法・語法 Engage</b>	<b>第3章 助動詞</b> <b>第4章 仮定法</b> <b>第5章 不定詞</b>		

2 学 期 期 末	Lesson 14 ローマの魅力 Lesson 15 思い出の写真 Lesson 16 科学技術の利用 Lesson 17 携帯電話は便利だけど... ..... <b>英文法・語法 Engage</b>	・名詞を後ろから修飾する①② ・関係代名詞／関係副詞 ・副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句 ・副詞節①② ..... <b>第6章 動名詞</b> <b>第7章 分詞</b> <b>第8章 関係詞</b>	23	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・Workbook等提出物 ・授業の取組み
学 年 末	Lesson 18 犬派？猫派？ Lesson 19 思い出深いプレゼント Lesson 20 インターネットの問題点 ..... <b>英文法・語法 Engage</b>	・原級／比較級 ・最上級／最上級の意味を表す表現 ・no＋名詞、noで始まる代名詞／部分否定／準否定 ..... <b>第9章 比較</b> <b>第10章 前置詞</b> <b>第11章 接続詞</b>	29	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・Workbook等提出物 ・授業の取組み

計 112 時間(47 分授業)

#### 4 課題・提出物等

・定期考査毎にワークブックの点検を適宜実施する。
--------------------------

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。			
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、英語を聞いたり話したりして積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。	日常生活の身近な話題について、情報や考えなどを伝えたいことを英語で話したり、発表したりして表現できる。	日常生活の身近な話題について、比較的平易な英語を聞いて、情報や考えなど、相手が伝えようとすることを理解できる。	日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。
<p>具体的には次のものを総合的に判断し、評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年5回の定期考査</li> <li>・定期考査時に実施するパフォーマンステスト</li> <li>・授業中に実施する小テスト</li> <li>・平常点(提出物、授業への取り組み状況等)</li> </ul>			

#### 6 担当者からの一言

2年時で学習した英語の基礎・基本を定着させ、日常生活の身近な話題について、書いたり話したりできるようになることを目指します。また、聞くこと、読むことも大切にし、その活動を通して書く、話す力の向上につなげます。様々なトピックについてグループで話し合い、また自分の考えを発表することにより、自分と他人の意見を比較し、考えの幅を広げ、自己表現力の向上に努めましょう。
--

# 令和2年度シラバス（国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	文章表現(選択)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年(商業関連学科)
使用教科書	国語表現(大修館書店)、精選現代文B改訂版(三省堂)				
副教材等	小論文ジャンル別キーワード解説三訂版(桐原書店) 小論文ジャンル別キーワード解説準拠ワークブック(桐原書店)				

## 1 学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。また、言語感覚を磨き、進んで表現することによって言語文化に対する関心を深め、社会生活の充実を図る態度を育てる。

## 2 指導の重点

- ・自分の考えを論理的に述べる方法を理解する。
- ・情報を収集、整理し、相手に正確に伝える文章力を身につける。
- ・相手の話を傾聴し、互いの立場、意見を尊重して話し合う態度を身につける。
- ・国語の表現の特徴や、語句や語彙の成り立ちについて理解を深める。

## 3 学習計画

		単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	
一 学 期	中間	適切な文章表現方法を学ぶ	「書いて伝える」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原稿用紙の使い方を理解する。</li> <li>・相手に伝わりやすい文章表現の方法を理解する。</li> <li>・新聞社説等を題材に、文章の要旨を把握する方法を理解する。</li> </ul>	26	
	期末	効果的な文章表現方法を学ぶ	「小論文・レポート入門」 「小論文ジャンル別キーワード」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文の基本的な書き方を理解する。</li> <li>・文章構成を意識し、自分の意見を筋道を立てて書く。</li> <li>・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。</li> <li>・教材を利用し、現代社会の問題点を把握する。</li> </ul>		
	夏期休業	各自の進路(就職・進学)分野に関係のある新書を購入し、各章を要約したレポートを作成する。				
二 学 期	中間	伝えあう力を高める①	「自己PRと面接」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己をしっかりと見つめ、これまでの経験から得たこと、自分の長所・短所などを挙げて、自分の人となり他者を紹介する文章を書く。</li> <li>・志望先についての情報を集め、説得力のある志望動機を書く。</li> </ul>	30	
	期末	伝えあう力を高める②	「会話・議論・発表」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面にふさわしい言葉遣いを考える。</li> <li>・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。</li> </ul>		

三 学 期	言語感覚を磨く	「メディアを駆使する」  「表現を楽しむ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的に応じて適切な形式を選び、さまざまな通信文を書く。</li> <li>・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。</li> <li>・『国語辞典』を手本にして、自分たちが普段使っている言葉を見つめ直し、新しい項目を考える。</li> <li>・『虫類図鑑』を手本にして、想像を広げ、風刺を効かせた文章を書く。</li> </ul>	19
-------------	---------	-----------------------------	---	----

計75時間（47分授業）

#### 4 課題・提出物等

- ・平素の授業においては、ほぼ毎時間、課題の提出を要する。授業時間内に終わらなかった場合は、家庭学習などで課題の残りを仕上げて提出する必要がある。
- ・夏期休業中には各自の進路希望に即したレポートを課す。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・授業で活用するプリントへの取り組みや、その提出状況
- ・長期休業中に課される課題への取り組みや、その提出状況
- ・学習への参加状況

1年間の評価は、年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。

#### 6 担当者からの一言

文章表現の授業は、就職や大学入試のために作文や小論文が必要な者が主に選択しています。そのため、評論文の論旨を要約すること、テーマに沿って自分の意見を述べること、自分について深く考察して文章にすることなど、就職や入試に即応した授業が中心になります。

授業時間内に考えるだけでなく、進路に関係のある分野の記事や、心を動かされた投書などを貼るノートをつくるなどして、常日頃から時事問題や経済問題、身近なニュースにアンテナを張り、自分の引き出しをたくさん作っておくことを心掛けましょう。

# 令和2年度シラバス（国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	古典総合(選択)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年(商業関連学科)
使用教科書	『高等学校 標準古典A 物語選』(第一学習社)、精選国語総合新訂版(大修館)				
副教材等	書き込みながら覚える古典文法ワークノート(第一学習社) 基礎から解釈へ漢文必携チェックノート基本編四訂版(桐原書店)				

## 1 学習目標

古典としての古文と漢文を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

## 2 指導の重点

- ①古典を読むために必要な語句の意味や用法、文法事項を身に付ける。
- ②古典に描かれた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察し、自分の考えを深めたり、視野を広げたりする。
- ③古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすることによって、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。

## 3 学習計画

期	単元・教材	学習内容	時間
1 学期	中間 十訓抄「文字一つの返し」 伊勢物語「あづさ弓」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌説話を読んで、当意即妙の歌才が評価されてきた言語文化の伝統について理解を深める。</li> <li>・作品中の和歌に、登場人物の思いがどのように表現されているか、また作品中の和歌の役割について、理解を深める。</li> <li>・用言の活用について理解を深める。</li> </ul>	26
	先従隗始	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓読の決まりを正しく理解する。</li> <li>・助字や語法に注意して正確に口語訳できるようにする。</li> </ul>	
	期末 竹取物語「かぐや姫の昇天」 赤壁之戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安前期の物語を通して、登場人物の言動と心の動きがどのように描写されているか、理解を深める。</li> <li>・助動詞について理解を深める。</li> <li>・登場人物の行動や心情を的確に抑え、場面の展開を正確に理解する。</li> <li>・助字や語法に注意して正確に口語訳できるようにする。</li> </ul>	
2 学期	中間 平家物語「忠度の都落ち」 大鏡「時平と道真」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有名なエピソードを通じて、当時の男性貴族の教養について理解する。</li> <li>・歴史物語の特徴と文学的意義を理解する。</li> <li>・敬語表現について理解する。</li> </ul>	30
	人面桃花	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動や心情を的確に抑え、場面の展開を正確に理解し、助字や語法に注意して正確に口語訳できるようにする。</li> </ul>	
	期末 源氏物語「光る君誕生」 荘子「胡蝶之夢」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動や心情を展開に即してとらえ、長編物語のおもしろさの一端を理解する。</li> <li>・登場人物の行動や心情を展開に即して捉え、物語を深く読み味わう。</li> <li>・老荘思想の一端にふれ、様々な視点から物事を捉える目を養う。</li> </ul>	

3 学 期	更級日記「源氏の五十余巻」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記を読んで、筆者の心情や考え方を読み取り、当時の生活について理解する。</li> <li>・平安女流日記文学の特徴を理解するとともに、『源氏物語』との関連を理解する。</li> </ul>	19
-------------	---------------	---	----

計75時間(47分授業)

#### 4 課題・提出物等

副教材は、定期考査の範囲に含めたり、授業の補完教材として用いたりするので、授業担当者の指示をよく聞いて学習に役立てること。また、提出を要する場合は遅滞なく提出すること。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の3つの観点から行う。

関心・意欲・態度	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。
読む能力	古典に表れた思想や感情を捉え、人間、社会、自然などについて考察し、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・年5回の定期考査
- ・授業で活用するプリントへの取り組みや、その提出状況
- ・長期休暇に出題される課題への取り組みや、その提出状況
- ・学習への参加状況

1年間の評価は、年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。

#### 6 担当者からの一言

「古典総合」では、2年生までの学習で学んだ古典の知識を確認しながら、自分で解釈ができるように学習を進めていきます。代表的な古典作品の文章を読み、人間や社会について考察することを通して、自分の考えや視野を広げる契機としましょう。

# 令和2年度シラバス（地理歴史）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	地理A	単位数	2	学年（コース）	3学年（総合ビジネス科 情報処理科）
使用教科書	第一学習社 地理A新版<地A310>、 高等地図帳（二宮書店）<地図314>				
副教材等	新編地理資料2020（東京法令） 白地図作業帳（東京法令）				

## 1 学習目標

現代社会の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代社会の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

## 2 指導の重点

自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等を通して現代世界の特色を探る。  
 現代の世界を地域（大陸規模、州、国家規模、市町村規模）を通して学ぶ。  
 現代社会の諸課題（国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族・領土問題）を理解する。  
 地理という学習が世界を捉えるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題に対して考え、自分の意見を言える力を身につける。

## 3 学習計画

学期	月	学習内容	時間	
1学期	4	第2章 世界の諸地域の暮らしと文化	26	
	5	第1節 自然環境と人々の暮らし 1 世界の地形 2 世界の気候 3 水と人々の生活 4 世界の民族と宗教		
		6		第2節 東アジアの人々の暮らし 地域によって異なる衣食住や生活と宗教のかかわりを学習する。
		7		第3節 東南・南アジアの人々の暮らし 第4節 中央・西アジア、北アフリカの人々の暮らし
2学期	9	第5節 中・南アフリカの人々の暮らし	30	
	10	第6節 ヨーロッパとロシアの人々の暮らし 第7節 北アメリカの人々の暮らし 第8節 中央・南アメリカの人々の暮らし 第9節 オセアニアの人々の暮らし		
		11		第3章地球的課題の地理的考察 第1節 地球環境問題
				12
	3学期	1		第3節 増える人口・移動する人々
第4節 世界の食糧問題				
第5節 世界の居住・都市問題				

2	第6節 国際協力  第1章地球儀や地図からとらえる現代世界	
---	-------------------------------------	--

75時間（47分授業）

#### 4 課題・提出物等

必要に応じて課されるレポートや長期休業中に課される課題など

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求するとともに、国際社会に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断するとともに、追求した過程や結果を適切に表現することができる。
資料活用の技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追求する技能を身につけている。
知識・理解	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。

評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・年4回の定期考査（3学期末については課題を課して評価）
- ・授業で活用するプリント
- ・長期休暇に出題される課題
- ・学習への参加状況（授業の記録ノートなど）

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

# 令和2年度シラバス（地理歴史）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	地理歴史(日本史総合)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年(商業関連学科の選択者)
使用教科書	『高校日本史』(山川出版社)、『新版世界史A新訂版』(実教出版)				
副教材等	『最新日本史図表』(第一学習社)、『高校日本史ノート』(山川出版社)				

## 1 学習目標

日本史の展開を世界史的視野に立って総合的に理解するとともに、日本の文化と伝統の特色について認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

## 2 指導の重点

- ① 日本の形成過程を、周辺地域との関わりをふまえながら、政治や社会の変遷をたどり理解させる。
- ② 日本と諸地域との外交交渉について、世界史的な視野から考察する。
- ③ 日本文化について、各時代の文化の特色を把握し、現代の日本文化との連続性を理解させる。

## 3 学習計画

学 期	学習内容	指導上の留意点	時間
1 学期	1 世界の中の日本前近代史 ① 冊封体制の中の古代日本 ② 東アジア世界と中世日本 ③ 大航海時代と南蛮貿易・キリスト教 ④ 朝鮮と文禄・慶長の役 ⑤ 「鎖国」下の交流～琉球・対馬 ⑥ テーマ学習Ⅰ	・世界史での学習内容をふまえ、東アジア世界を中心とした国際関係の中での日本の歴史を理解する。 ・グループごとにテーマを選び、レポートを作成し、代表者による発表を行う。	26
2 学期	2 世界の中の日本近現代史 ① 帝国主義と明治維新 ② 社会主義と大正デモクラシー ③ 「満州」と日本 ④ アジア世界から見た日本の戦争 ⑤ 冷戦下の日本 ⑥ 多極化する世界と日本 ⑦ テーマ学習Ⅱ	・世界史的観点から日本の近現代史を考え、国際環境や歴史的事象の関連性について理解する。 ・グループごとにテーマを選び、レポートを作成し、代表者による発表を行う。	30
3 学期	課題研究 各自で設定した課題について探究活動を行う	・探究したことをレポートにまとめ、発表する。	19

計75時間(47分授業)

## 4 課題・提出物等

- ・学習の進度に応じて、小テストや練習問題等の課題を課す。
- ・視聴覚教材等を用いた場合には感想レポートを課すことがある。
- ・長期休業中の課題については別途指示する。

## 5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	④ 資料活用の技能	⑤ 識・理解
日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って探究している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、世界史的視野に立って探究し考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を、世界史的な視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。
以上の観点を踏まえ、以下から総合的に評価する。 1. 授業のとりくみ姿勢（授業態度、学習活動への参加状況など） 2. 提出物などの内容・提出状況 3. 定期テスト			

## 6 担当者からの一言

歴史は過去に学んで、現代をより深く理解し、より良い未来の創造に資するための学問です。平和な時代に生きることのできた私たちが、それをしっかりと受け継いでいくことができるように学びましょう。

2年次での学習を基礎に、自らテーマを設定して、資料を活用して探究・考えをまとめる学習を行っていきます。

# 令和2年度シラバス (数学)

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科 (科目)	数学 (数学B)	単位数	2単位	学年 (コース)	3学年 (商業関連学科)
使用教科書	東京書籍「数学B Standard」(東書 数B317)				
副教材等	東京書籍「Standard Buddy Stage 数学B」				

## 1 学習目標

数列又はベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度が育つことを目標とする。

## 2 指導の重点

- ① 簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- ② ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。

## 3 学習計画

学期	単元名	学習活動 (指導内容)
1	1章 数列 (33時間) 1節 数列 1 数列 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和 2節 いろいろな数列 1 いろいろな数列の和と記号 $\Sigma$ 2 階差数列と数列の和 3節 漸化式と数学的帰納法 1 漸化式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数列の概念・数列についての基本的な用語の意味を理解する。</li> <li>・等差数列について関心を深め、一般項<math>a_n</math>を初項<math>a</math>、公差<math>d</math>を使って表せることを理解する。更に、初項から第<math>n</math>項までの和の求め方に興味をもち、それが<math>n</math>を用いて表せることを理解する。</li> <li>・等比数列について関心を深め、一般項<math>a_n</math>を初項<math>a</math>、公差<math>r</math>を使って表せることを理解する。更に、初項から第<math>n</math>項までの和の求め方に興味をもち、それが<math>n</math>を用いて表せることを理解する。</li> <li>・記号<math>\Sigma</math>の意味と性質を理解し、自然数の平方の和を<math>\Sigma</math>を用いて表すことができる。更に、階差数列から一般項を求めたり、数列の和から一般項を求めたりすることができる。</li> <li>・数列の帰納的定義について理解し、漸化式を扱うことができる。</li> </ul>
2	2 数学的帰納法 2章 ベクトル (42時間) 1節 平面上のベクトル 1 有向線分とベクトル 2 ベクトルの加法・減法・実数倍 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 2節 ベクトルの応用 1 位置ベクトル 2 ベクトルの図形への応用 3 ベクトル方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的帰納法について理解し、等式などの証明に利用できる。</li> <li>・平面上のベクトルの考えを理解し、ベクトルに関する基本的な用語・記号に習熟する。</li> <li>・ベクトルの加法・減法および実数倍について理解し、それらの演算について数の演算と同様の法則が成り立つことを確かめる。また、ベクトルの平行・分解について理解する。</li> <li>・ベクトルがいくつかの実数の組として表されることを理解する。更に、ベクトルの内積とその基本性質を理解する。</li> <li>・位置ベクトルを理解し、平面上の点の位置を表現できるよさを認識する。平面上の直線や円を、ベクトルを用いて表せることや媒介変数表示についても理解する。</li> </ul>

学期	単元名	学習活動 (指導内容)
3	3節 空間におけるベクトル 1 空間座標 2 空間のベクトル 3 ベクトルの内積 4 位置ベクトルと空間の図形	・空間における座標を定め、空間の点が3つの実数の組として表現できることを理解する。また、座標平面に平行な平面について考察する。更に、平面と同様に、空間においてもベクトルを考えることができることを理解し、内積や位置ベクトルを空間図形に応用できる。

計75時間(47分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ①副教材の問題集
- ②授業中に配付するプリントなど
- ③長期休暇中の課題プリントなど

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方	③数学的な技能	④知識・理解
数学的活動を通して、数列またはベクトルにおける考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	数学的活動を通して、数列またはベクトルにおける数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、数列またはベクトルにおいて、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して、数列またはベクトルにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。

以上の点をふまえ、定期考査・長期休業後の課題考査・提出物・授業への取組みなどから、総合的に判断します。

#### 6 担当者からの一言

- ・1, 2年生の学習内容すべてを発展的に扱います。したがって、既習事項を扱えることが必要です。授業だけでなく毎日の家庭学習における演習が大切です。
- ・授業中は黒板を写すことに専念するのではなく、口頭での注意事項・アドバイスもメモするなど、ノートを取り方を工夫しましょう。後でノートを見て自学自習できるようにしてください。
- ・数学はじっくり考える教科です。すぐにあきらめずに、粘り強く取り組みましょう。
- ・授業が一番大切です。集中力を高めて授業に積極的に参加をしてください。

# 令和2年度シラバス (数学)

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	数学(数学総合I)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年(商業関連学科)
使用教科書	「数学I Standard」「数学A Standard」(東京書籍)				
副教材等	ニューアクション・ベーシック 数学I+A(東京書籍)				

## 1 学習目標

平面図形、集合と論証、場合の数と確率、方程式と不等式、2次関数、図形と計量及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようになることを目標にしています。

## 2 指導の重点

1学期は1, 2年生の学習内容の確認、2, 3学期は発展的な問題に取り組むことに重点を置きます。

## 3 学習計画

学期	月	学 習 内 容
1学期	4	教科書、問題集を用いて1, 2年生の内容について既習の公式や事項を学習する。(28時間) 数学I 1章 数と式
	5	2章 集合と論証
		3章 2次関数
	6	4章 図形と計量
		5章 データの分析
2学期	7	数学A 1章 場合の数と確率
		3章 図形の性質
	9	教科書や一般的な問題集の問題とは異なる形式で出題される問題に対応するため、発展的な内容を含み、科目にまたがった多面的な学習を行う。(32時間)
	10	発展的な内容 ・2重根号                      ・連分数                      ・ヘロンの公式                      ・真理値表
	11	多面的な内容 ・三角比と方べきの定理                      ・交代式と対称式の関連
	12	
3学期	1	数学の論理や体系を理解し、それらを的確に活用するための技能の習熟を図る。(15時間)
	2	
	3	

計75時間(47分授業)

#### 4 課題・提出物等

授業担当者の指示に従って課題があればしっかり取り組み、提出を求められたものは必ず提出してください。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断している。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・定期考査
- ・課題等の提出状況
- ・学習への取組状況

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

#### 6 担当者からの一言

1, 2年生の学習内容すべてを総合的に扱います。授業だけでなく毎日の家庭学習が大切になります。

# 令和2年度シラバス (理科)

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科 (科目)	理科 (生物総合)	単位数	3単位	学年 (コース)	3学年 (商業関連学科)
使用教科書	東京書籍 新編生物基礎, 数研出版 改訂版生物				
副教材等	第一学習社 標準セミナー生物基礎				

## 1 学習目標

- 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心・探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てる。
- 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めたうえで、その知識を有効に活用させるために発展的な学習を行い、科学的な見方や考え方を養う。

## 2 指導の重点

- 現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習する。
- 生物の多様性の中から法則を導き、その中の法則に基づきながら共通性を見いだしていく。
- 観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。
- 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。

## 3 学習計画

学期	月	学 習 内 容	時間	
1学期	4	第1編 生命現象と物質 1章 細胞と分子 多様な生物の共通点, 生物の共通性としての細胞について	3	
		2章 代謝 エネルギーと代謝, 代謝にかかわる酵素, 生体内におけるエネルギー変換 ミトコンドリアと葉緑体の起源について	7	
	5	3章 遺伝情報の発現 DNAの構造と複製, 遺伝情報とタンパク質の合成 遺伝情報の流れ, 転写, 翻訳, 遺伝子の発現と生命現象について	6	
		6	バイオテクノロジー	7
	6	第2編 生殖と発生 4章 生殖と発生 遺伝子と染色体, 減数分裂, 初期発生の過程	6	
		7	細胞の分化と形態形成	9
2学期	8	第3編 生物の環境応答 5章 動物の反応と行動	14	
		ニューロンとその興奮, 刺激の受容, 刺激への反応		
	9	6章 植物の環境応答 植物の生活と環境応答, 成長の調節, 植物ホルモン	14	
		10		
	11	第4編 生態と環境 7章 生物群集と生態系 生態系における物質生産, 生態系と生物多様性	12	

	1 2	第5編 生物の進化と系統 8章 生命の起源と進化 生命の起源, 進化のしくみ	8
3学期	1 2 3	・既習事項を踏まえた応用発展的な内容を学習 細胞分画法, 細胞のはたらき, タンパク質合成, 細胞分裂とDNA量の変化, タンパク質合成とゲノム, 酵素の特徴, ホルモンによる体内環境の調節, 沈降線, 腎臓のはたらき, ホルモンのはたらき, 光の強さと生産構造, 植生の分布と環境, 生態系の栄養段階と物質循環, 窒素の循環と窒素に関わる環境問題	20

計112時間(47分授業)

#### 4 課題・提出物等

<p>実験・観察のレポートは実施時間内に作成し、提出することを原則とする。 各単元内の内容によっては、授業内小テストも実施することがある。 副教材に含まれる練習問題は、授業の進度に合わせて各自が家庭学習として行うことを原則とする。</p>
---

#### 5 評価基準の評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。	
関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
<p>評価は具体的には次のものを対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年5回の定期考査</li> <li>・実験・観察のレポート</li> <li>・授業で活用するプリント</li> <li>・授業中の学習意欲, 提出物への取り組み</li> </ul> <p>また, 1年間の評定は, 1学期から3学期の年間を通じて, 上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。</p>	

#### 6 担当者からの一言

<p>生物基礎では、生物や生命現象を通して、身の回りの動植物、自然、または自分自身のからだのしくみや現象について学習します。身近な生命現象などを例に、生物の不思議さやおもしろさに迫っていきます。</p>
---

# 令和2年度シラバス（理科）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	理科(化学基礎)	単位数	3単位	学年(コース)	3学年(商業関連学科)
使用教科書	東京書籍「改訂 新編化学基礎」				
副教材等	東京書籍「改訂ニューステップアップ 化学基礎」				

## 1 学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

## 2 指導の重点

1. 化学が人間生活に果たしている役割を理解できるとともに、日常生活や社会と関連付けることができる。
2. 原子の構造及び電子配置と周期律の関係を理解できる。
3. 物質について理解を深めるとともに、化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則を理解する。
4. 仮説を設定・検証する実験を通して、結果を分析・解釈し、自らの考えを導き出す学習活動を行う。また、それらを表現するための報告書を作成する機会を設ける。

## 3 学習計画

学期	月	学習内容	時間
1 学 期	4	序章 化学と人間生活 ・文明は金属とともに(銅・鉄・アルミニウム) ・セラミックス(ガラス・陶磁器・ファインセラミックス) ・プラスチック(熱可塑性樹脂・熱硬化性樹脂・機能性樹脂) ・合成繊維(ナイロン・アクリル繊維・ポリエステル繊維) ・食料の確保(化学肥料・農薬)・食品の保存(食品添加物)	5
	5	・洗剤(洗浄のしくみ・洗剤の量) ・地球環境と物質の利用	1 8
		1編 物質の構成	
		1章 物質の成分と構成元素	
	6	① 物質の成分 混合物と純物質 混合物の分離と精製 ② 物質の構成元素 元素 単体と化合物 元素の確認 ③ 物質の三態 状態変化 粒子の熱運動	8
		2章 原子の構造と元素の周期表	
	7	① 原子の構造 原子 同位体 ② 電子配置と周期表 原子の電子配置 元素の周期表	1 3
		3章 化学結合	
		① イオンとイオン結合 イオンの形成 イオンの分類 イオン化エネルギー イオン結合とイオン結晶 イオン結晶の性質 ② 分子と共有結合 分子 分子の形成 分子の形 配位結合 電気陰性度と分子の極性 分子結晶 共有結合の結晶 分子から成る物質の用途 ③ 金属と金属結晶 金属結合 ④ 物質の構成粒子と物質の分類	
	2	9	2編 物質の変化 1章 物質と化学反応式 ① 原子量・分子量・式量 原子の相対質量 原子量・分子量・式量 ② 物質量 物質量 ③ 溶液の濃度

学 期	10	④ 化学変化の量的関係 2章 酸と塩基	化学反応式 化学反応式と量的関係	1 7
	11	① 酸と塩基	酸性と塩基性 酸・塩基の定義 酸・塩基の価数 酸と塩基の強弱と電離度	
		② 水素イオン濃度とpH	水の電離と水素イオン濃度 pH 指示薬とpHの測定	
	3 学 期	11	③ 中和反応と塩の生成	酸と塩基の中和 塩
④ 中和滴定			中和反応の量的関係 中和滴定 滴定曲線	
12		3章 酸化と還元		
		① 酸化と還元	酸化・還元と酸素の授受 酸化・還元と水素の授受 酸化・還元と電子の授受 酸化・還元と酸化数	
3 学 期	1	② 酸化剤と還元剤	半反応式の作り方・酸化還元の量的関係	2 0
		③ 金属の酸化還元反応	金属のイオン化傾向 金属の反応性	
		④ 酸化還元反応の応用	電池の仕組み 実用電池 金属の精錬	

計 1 1 2 時間 (4 7 分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・各単元の内容に関して、必要に応じて、授業内小テストも実施することもある。
- ・実験・観察のレポートは実施時間内に作成し、提出することを原則とする。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 講義、実験いずれの授業においても集中力を保つ。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 授業内容について科学的な捉え方ができる。
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 実験結果に対する考察が充分であり、その内容を適切に伝達できる。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。学んだ内容が関連付けて整理され定着している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・年5回の定期考査
- ・授業時間内の小テスト
- ・授業で活用するプリント
- ・実験・観察のレポート
- ・学習への参加、提出物等への取り組み状況

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定する。

#### 6 担当者からの一言

日常生活の中で、「化学」はごく当たり前で使用されているが、それを意識している人は少ない。化学の知識が生活に役に立っていることを学び、化学を身近に感じてもらいたい。化学に興味関心のあるものが選択して欲しい。

# 令和2年度シラバス（外国語）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	英語総合B	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（商業関連学科）
使用教科書	Compass English Communication II Revised (大修館)				
副教材等	・『四訂版 英語総合問題集 UNITE STAGE 2』（数研出版） ・『英文法・語法 Engage』（いいずな書店）				

## 1 学習目標

時事的な問題を含めた様々なテーマの英文を通して、視野を広げ、国際社会や異文化に対する理解や関心を深める。また、そこで得た知識や情報を実践的に活用できる能力を身につける。

## 2 指導の重点

様々な話題の英文を読み、既習の文法や語彙を使って書いたり話したりするなど、主に表現する活動を中心に行う。

## 3 学習計画

学期	月	学 習 内 容	時間		
1学期	4	UNITE STAGE2	26		
		Lesson 1 国際		文型	
	5	Lesson 2 生活		} 各テーマについて自分の意見や感想を簡潔に書く。	時制
	6	Lesson 3 産業			完了形
	7	Lesson 4 メール文			助動詞
		Lesson 5 歴史		} まとまった英文を書くための手順や構成を学ぶ。	受動態
		Lesson 6 歴史			不定詞（1）
		Lesson 7 科学		} 文のつながりや構成を考えた文章を書く。	不定詞（2）
	Lesson 8 テクノロジー	動名詞			
		発展的活動1			
2学期	9	Lesson 9 図表	30		
		Lesson 10 環境		} 各テーマについて論理的に自分の意見や感想を書く。	分詞・分詞構文
	11	Lesson 11 グラフ			比較
		Lesson 12 歴史			関係詞（1）
	12	Lesson 13 広告		} 他人の意見に対して自分の意見や感想を書く。	関係詞（2）
		Lesson 14 科学			仮定法（1）
		Lesson 15 会話		仮定法（2）	
		発展的活動2			
3学期	1	総まとめ 発展的言語活動3	19		

計 75 時間 (47 分授業)

#### 4 課題・提出物等

『UNITE Stage 2』提出ノート（各定期考査ごとに取り組みの確認を行います）

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	国際社会において、諸外国の人とのコミュニケーションに関心を持ち、自ら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が身についている。
外国語表現の能力	英語を通して国際理解の重要性を考え、国際社会の諸問題を様々な角度から主体的にかつ客観的に考察することができ、自分の考えについて、エッセイにまとめ、発表することができる。
外国語理解の能力	様々な題材の英文を読み、的確に内容を読み取り、要点や概要を理解することができる。
言語や文化についての知識・理解	英語やその運用についての知識を身につけ、その背景となる文化を理解している。

- ・定期考査
- ・レッスンごとの小テスト
- ・提出物や課題の取り組み等平常点

#### 6 担当からの一言

1年次「英語会話」、2年次の「英語表現」で学習した内容を土台として、さらに書いたり話したりする活動を重点的に行います。そのためには、基本的な文法事項の理解や語彙力が不可欠です。基礎的な事柄を大事にしながら、英語で積極的に自己表現する練習を積み重ね、英語力を総合的に高めることを目標とします。

# 令和2年度シラバス (家庭)

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	フードデザイン	単位数	2単位	学年(コース)	3学年 (商業関連学科)
使用教科書	教育図書 『フードデザイン』				
副教材等	教育図書 『新版基礎から学ぶ ビジュアルクッキング』 教育図書 『フードデザインワークノート』				

## 1 学習目標

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する基本的な知識と技術を習得させ、食事を総合的にデザインする能力と態度を育てる。

## 2 指導の重点

- ① 食事の意義と役割について理解させ、栄養や食品の知識を基に、献立作成・調理・後片付けまで総合的にとらえ実践出来る能力を育てる。
- ② 食の文化的な意味を踏まえテーブルコーディネートの知識を習得させ、豊かな食生活を創造する力を高める。

## 3 学習計画

学期	月	学習内容
1学期	4	フードデザインを学ぶにあたって 「健康・栄養・食物」(17時間) ・ 食物に求められるもの ・ 栄養素の役割
	5	・ 栄養素の種類とはたらき ・ 消化と吸収 ・ 食事摂取基準と食事計画 ・ ライフステージと栄養計画
	6	「献立と調理」(5時間) ・ 調理の基本 ・ テーブルコーディネート
	7	調理実習 7回 (7時間)
2学期	9	「献立と調理」(20時間)
	10	・ テーブルコーディネート
	11	・ 食品の選択と調理
	12	・ 献立作成 ・ 日本料理の献立作成と調理実習・食卓作法 ・ 西洋料理の献立作成と調理実習・食卓作法 ・ 中華料理の献立作成と調理実習・食卓作法
		「健康・栄養・食物」(10時間) ・ 食品の成分と変化 ・ 食品の加工  調理実習 6回 (6時間)

3学期	1	「食生活の充実・向上」(8時間)
	2	・ 食生活の変化と現状 ・ よりよい食生活を創造するために 調理実習 2回 (2時間)

計75時間(47分授業)

#### 4 課題・提出物、連絡等

- ・ 実習のレシピ、配布プリント、ワークノート等の提出があります。必ず、提出してください。
- ・ 実習は1時間(47分)で、実習・試食を行う予定です。
- ・ 調理実習は年間、10回実施する予定です。
- ・ 調理実習費は年度当初に実費を徴収します。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する食生活の科学と食文化等に関心を持ち、その充実向上を目指して総合的にデザインする能力を養うとともに意欲をもって学習活動に取り組んでいる。
思考・判断・表現	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し、創造する能力を身につけている。
技能	食生活を充実向上するために必要な食品の選択、調理、食生活の管理などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。
知識・理解	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて、科学的に理解し、心豊かで充実した食生活を営むために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。

以上の点を踏まえ、評価は下記のものを対象とします。

- ・ 定期考査
- ・ 授業・実習等における取り組み状況 (授業態度、学習活動への参加状況、発言の仕方、提出物の有無)
- ・ 授業で活用するプリント(レシピ、配布プリント等)の取り組み状況、提出の有無
- ・ 授業時間に実施される小テスト
- ・ 製作した作品の取り組み状況
- ・ 課題の提出状況
- ・ 体調管理(日常の食生活管理も含めて)

また、1年間(学年末)の評定は、1～3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況などから、総合的に判断します。

#### 6 担当者からの一言

フードデザインにおける学習は、1年次に家庭基礎で学んだ「食生活の科学と文化」の知識と技術をふまえ、さらにテーブルコーディネートなどに関する知識・技術を加え、より詳しく丁寧に学んでいきます。とくに、国際化、高齢化、食産業の進展などにより、食環境が大きく変化していることや健康への関心の高まりなどに対応し、食事を総合的にデザインする能力の育成を特に重視し学んでいきます。調理実習を通して、調理に関する知識はもちろんのこと、基礎・基本的な調理技術も身につけていきます。さらに現代の食生活の現状を把握し、食に関する問題点を自分自身の食生活を問題として捉え、解決しようとする能力と態度を育てていきます。また、テーブルコーディネートの基本をふまえ、食事の「テーマ」にふさわしい食卓の整え方や周囲の環境づくりができるようにし、食空間を演出する感性や表現力を養うことができるように実践力を身につけてほしいと願っています。

# 令和2年度シラバス（ 外国語 ）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	時事英語	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（商業関連学科）
使用準教科書	『NEWSBREAKS for STANDARD English Learners 2020』（エミル出版）				
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『精選演習 英文法・語法問題 600』（いいずな書店）</li> <li>・『英文法・語法 Engage』（いいずな書店）</li> <li>・CORE-REX 英和辞典（旺文社）＊推薦辞書</li> </ul>				

## 1 学習目標

時事的な問題を含めた様々な英文を通して、視野を広げ、国際社会や異文化に対する理解や関心を深める。またそこで得た知識や情報を活用できる実践力を養う。

## 2 指導の重点

様々な話題の英文を読み、4技能を高める総合演習問題に取り組み、発展的な言語活動を行う。

## 3 学習計画

学 期	月	学 習 内 容	時間		
1学期 『精選演習 英文法・語法問題 600』  *『英文法・語法 Engage』 は同じ文法項目を学ぶ際に 適宜活用します	4	第1章 時制 第2章 受動態 第3章 助動詞	38		
	5	第4章 仮定法 第5章 不定詞 第6章 動名詞 第7章 分詞			
	6	第8章 準動詞 第9章 動詞の語法 第10章 動詞のイディオム 第11章 関係詞			
	7	第12章 比較 第13章 疑問文			
	2学期 NEWSBREAKS  *『英文法・語法 Engage』 は同じ文法項目を学ぶ際に 適宜活用します	9		Topic 1 EVENT / Topic 2 DIPLOMACY Topic 3 TECHNOLOGY 『精選演習 英文法・語法問題 600』 第14章 否定・強調・倒置・省略 第15章 名詞の語法・イディオム	45
		10		Topic 4 MUSIC / Topic 5 ECONOMY Topic 6 ENVIRONMENT 『精選演習 英文法・語法問題 600』 第16章 代名詞の語法 第17章 主語と動詞	
		11		Topic 7 POLITICS / Topic 8 PEOPLE / Topic 9 SPORTS 『精選演習 英文法・語法問題 600』 第18章 前置詞とイディオム 第19章 接続詞	
		12		『精選演習 英文法・語法問題 600』 第20章 形容詞の語法・イディオム 第21章 副詞の語法・イディオム	

3学期	1	Topic 10 TECHNOLOGY Topic 11 PEOPLE Topic 12 RESOURCES 『精選演習 英文法・語法問題 600』 第22章 会話表現	29
-----	---	--	----

計 112 時間 (47 分授業)

#### 4 課題・提出物等

『NEWSBREAKS』総合設問集 (各定期考査ごとに取り組みの確認を行います)

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	国際社会において、諸外国の人とのコミュニケーションに関心を持ち、自ら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が身についている。
外国語表現の能力	英語を通して国際理解の重要性を考え、国際社会の諸問題を様々な角度から主体的にかつ客観的に考察することができ、自分の考えについて、エッセイにまとめたり、発表することができる。
外国語理解の能力	様々な題材の英文を読み、的確に内容を読み取り、要点や概要を理解することができる。
言語や文化についての 知識・理解	英語やその運用についての知識を身につけ、その背景となる文化を理解している。

- ・定期考査
- ・レッスンごとの小テスト
- ・提出物や課題の取り組み等の平常点

#### 6 担当者からの一言

英語総合Aで学習したことを踏まえ、さらに広く深く英語を学ぶ科目です。時には基本に立ち返り、時には自ら意見を述べたり書いたりすることで、英語を使うことの醍醐味を味わってほしいと思います。自ら学ぼうとする積極的な態度と意欲を期待します。また、実用技能検定2級程度の英語力をつけることを目標とします。

# 令和2年度シラバス (商業)

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科 (科目)	課題研究(ハングル)	単位数	2単位	学年 (コース)	3学年 (商業関連学科)
使用教科書	「新チャレンジ!韓国語」CD付 白水社				
副教材等	韓国映画 (DVD)				

## 1 学習目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 初級ハングルの学習を通して、文字と発音、基本的な文法や表現を学び、簡単な会話ができるようになる。</li> <li>2 初級ハングルの学習を通して、朝鮮半島地域の社会と文化を理解する。</li> <li>3 大学における第二外国語学習の基礎を身につける。</li> </ol>
---

## 2 指導の重点

<ol style="list-style-type: none"> <li>① 文字について (母音・子音・合成母音・パッチム等)</li> <li>② 文字・単語の発音について (濃音・複合母音・終声・連音・平音の濃音化・鼻音化・流音化等)</li> <li>③ 助詞・数詞と時間の言い方について</li> <li>④ 基本的な日常会話や自己紹介について</li> </ol>
--

## 3 学習計画

学期	月	学習内容	時間	評価方法
1学期	4	1課 基本母音字母と合成母音字母 (1) 2課 基本子音字母 (確認小テスト・単語テスト)	38	定期テスト 確認テスト 授業への取り組み
	5	3課 合成母音字母 (2) 4課 パッチム (終声) (確認小テスト・単語テスト) ※ 辞書の引き方について		
	6	5課 私は～です (会話・文法) 6課 時間ありますか? (会話・文法) (期末テスト・スピーキングテスト)		
	7	※ 韓流映画を見ながらの学習		
2学期	9	7課 それは何ですか? (会話・文法) 8課 日曜日に何をしますか? (会話・文法) (確認小テスト・単語テスト)	44	定期テスト 確認テスト 授業への取り組み
	10	9課 何が好きですか? (会話・文法) 10課 週末に何をしましたか? (会話・文法) (確認小テスト・単語テスト)		
	11	11課 明日は何をするつもりですか? (会話・文法) 12課 スープが冷たくておいしいです (会話・文法) (期末テスト・スピーキングテスト)		
	12	※ 「話してみよう韓国語」新潟大会のスキット部門学習		
3学期	1	13課 一度遊びに来てください (会話・文法)	30	定期テスト 確認テスト 授業への取り組み
	2	(期末テスト・スピーキングテスト)		

112時間 (47分授業)

#### 4 課題・提出物等

基本的な単語やあいさつに関する復習プリント（宿題）の提出。  
（毎時間、課題は出されます。）

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心 意欲 態度	関心・意欲・態度	・「韓国」および「ハングル」の内容に関心を持ち、その言語の習得を目指して意欲的に取り組もうとしている。
思考 判断 表現 技能	話す・聞く能力	・「ハングル」に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、正しい発音で簡単な日常会話ができる。また、簡単な日常会話を聞き取ることができる。また、自分の意見などを表現できる。
	書く能力	・「ハングル」に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、正しい「ハングル（文字）」が書ける。また、自分の意見などを表現できる。
	読む能力	・「ハングル」の内容を的確に把握し、基礎的・基本的な単語や文法、あいさつの意味を理解し読むことができる。
知識 理解	知識・理解	・「ハングル」に関する基礎的・基本的な単語や文章、あいさつを理解し、「ハングル」学ぶ中で、韓国社会の風習や文化にも理解を深めようとしている。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・年3回の学期末考査および月1または2回程度の確認小テスト・単語テスト
- ・授業で活用するプリント
- ・課題などの提出物
- ・学習への参加状況

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

#### 6 担当者からの一言

外国人とのコミュニケーションを図るうえで、その国の言語を学ぶことは重要なことです。言語を知ることで、その国の歴史や文化が見えてきます。

韓国は、日本（特に新潟県）にとって一番近い外国であり、韓国の俳優やアイドルは今や日本の芸能人を超える勢いで人気を得ています。今後、経済はもちろんスポーツや文化においても、日韓の交流はますます盛んになるものと思われます。

高校で、英語以外の外国語を学べる機会はそうはありません。大学進学後の第二外国語の基礎としても申し分ありません。また、ここ5年間、新潟県立大学で開催される「話してみよう韓国語」にも参加し全国大会にも出場した実績を持ちます。

授業は、ネイティブの先生が、発音も含め基礎から丁寧に教えてくれます。興味がありやる気のある人、ぜひ学習してみてくださいいかがですか？

# 令和2年度シラバス（商業）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	商業（課題研究：中国語）	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（商業関連学科）
使用教科書	「初級テキスト 日中いぶこみ交差点」 朝日出版社				
副教材等					

## 1 学習目標

- ① 初級中国語の学習を通して、中国語独特の発音・四声、基本的な文法を身に付け、簡単な会話ができるようにする。
- ② 中国事情（社会、政治経済、歴史、文化など）を知る。
- ③ 中国の高校生との手紙による交流を通じて日中友好交流を図る。
- ④ 大学における第二外国語学習の基礎を身につける。

## 2 指導の重点

- ① 中国語ネイティブの先生について発音や四声などを初歩から学習する。
- ② 基本的な日常会話や自己紹介ができるようにする。
- ③ 新聞や雑誌などのメディア等を通して中国事情について学習し、中国・中国語への関心を高める。
- ④ 手紙による交流を通じて高校生同士の日中友好交流を図る。

## 3 学習計画

学期	月	学習内容	時間
1学期	4	ウォーミングアップ（中国・中国語） 中国語による自己紹介と挨拶 第1課～第4課 発音	38
	5	第5課 ①人称代名詞 ②挨拶ことば ③「是」 ④「吗」 第6課 ①姓名の言い方 ②「呢」 ③呼びかけのことば ④「吧」	
	6	第7課 ①指示代名詞「こそあど」 ②「的」 ③「都」と「也」 ④動詞述語文 第8課 ①疑問詞 ②助動詞「想」 ③反復疑問文 ④「喜欢」	
	7	第9課 ①数詞 ②年齢の言い方 ③量子 ④「有」 第10課 ①「过」 ②「请」 ③「还是」 ④形容詞述語文 ※毎時間の始めにピンイン・四声の発音練習と会話練習 ※中国の高校生と手紙による交流 理解度確認テスト	
2学期	9	第11課 ①助動詞の「要」 ②主述述語文 ③比較の言い方 ④前置詞の「给」 第12課 ①助動詞「可以」 ②動詞の重ね型 ③方向補語 ④連動文 ⑤お金の言い方	44
	10	第13課 ①「怎么」 ②前置詞の「离, 从, 往」 ③「得」 ④動詞の「在」 ⑤動詞のあとの「了」 第14課 ①年月日・曜日の言い方 ②「快～了」 ③文末の「了」 ④前置詞の「跟」 ⑤「一边～一边」	
	11	第15課 ①時刻の言い方 ②時間量の言い方 ③禁止表現「別」 ④「挺」 第16課 ①助動詞の「会」 ②結果補語 ③「不」と「没」 ④方位詞	

	12	第17課 ①助動詞「能」 ②前置詞の「在」 ③「再」 ④可能補語 第18課 ①様態補語と程度補語 ②前置詞の「用」 ③「一下」 ④二重目的語をとる動詞 ※毎時間の始めにピンイン・四声の発音練習と会話練習 ※中国の高校生と手紙による交流 理解度確認テスト	
3学期	1	第19課 ①「有点儿」と「一点儿」 ②進行の表し方 ③「是～的」 ④「让」使役文 ⑤「～着」	30
	2	第20課 ①「把」の構文 ②「被」構文 ③存現文 ④「祝」祈る言葉 ※毎時間の始めにピンイン・四声の発音練習と会話練習 ※中国の高校生と手紙による交流 ※自己紹介・漢詩の朗読発表会	

計 112 時間 (47 分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ① 各課練習プリント
- ② 中国の高校生への手紙 (2、3回)
- ③ 中国事情に関するレポート

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	・中国の文化および中国語の内容に関心を持ち、言語の習得を目指し、意欲的に取り組もうとしている。
思考・判断・表現	・中国語に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、ピンインや四声を正しく理解し、聞き取ることができる。また、自分の意思を表現することができる。
技能	・中国語の内容を理解し、基礎的・基本的な単語や文法、あいさつの意味を理解し発音することができる。
知識・理解	・中国語に関する基礎的・基本的な単語や文法、あいさつを身につけ、簡単な日常会話ができる。また、簡体字を用いて表現することができる。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・年2回の理解度確認テスト (筆記・口頭試験) および単語テスト
- ・手紙やレポートなどの提出物
- ・授業への参加状況

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

#### 6 担当者からの一言

中国語は、世界の言語のなかで最大の使用人口を誇る言語です。近年の著しい経済成長で中国は今、世界各国から注目されています。そのため、中国語学習者も年々増えています。

ネイティブの先生について中国語独特の発音や文法などを初歩から学習するため、大学における第二外国語学習の基礎を身につけるチャンスにもなります。中国・中国語に興味のある人、やる気のある人は是非選択してください。

# 令和2年度シラバス（商業）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	商業(課題研究:時事研究)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年(商業関連学科)
使用教科書					
副教材等	各新聞のコラム及び論説 小論文添削用テキスト など				

## 1 学習目標

1. 文章の基本を学び、表現力、読解力、構成力を身につけるとともに論理的思考力を養う。
2. ディベートを通じ、筋道を立てて物事を考える力、物事を掘り下げて考える力、自分の考えを的確に伝える力を養う。

## 2 指導の重点

1. 文章表現の基礎・・・基本的な文章力を向上させます
2. ブレーンストーミング・・・発想力、傾聴力、協働力および問題解決能力を身につけます
3. セルフディベート・・・論理的な思考力を養います
4. 競技ディベート・・・多面的な思考力、判断力、PDCAサイクル、自分の考えを的確に伝える力を養います
5. 卒業論文・・・論理的な文章力を向上させます

## 3 学習計画

学期	月	学習内容	時間
1学期	4	○ガイダンス(オリエンテーション)	38
	5	○文章表現の基礎 新聞コラムの要約と意見記述 ・語句、慣用句、漢字を正しく理解する。 ・文章全体の構成を理解し、要旨をまとめる。 ・感想を記入する。	
	6	○ブレーンストーミング ・グループで問題解決方法について検討 ・解決方法をプレゼンテーション ・個人で問題解決方法を検討、その結果をプレゼンテーション	
2学期	7	○セルフディベート 与えられたテーマで賛成・反対の双方の意見を考え、自分の考えをまとめる 自分の考えをプレゼンテーション	44
	9	○競技ディベート ・ディベートの基礎 ・競技ディベートのルール	
	10	・課題の設定 ・ディベート準備 ・競技ディベートの実施	
	11	○卒業論文 ・テーマ設定 ・調査	
	12	・論文制作	

3学期	1	○まとめ ・1年間のまとめ	30
	2		

計 112時間 (47分授業)

#### 4 課題・提出物等

授業時の課題の提出、ディベートの準備  
プレゼンテーションの準備

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	「時事研究」の内容に興味・関心を持ち、その知識や技能を習得するために、意欲的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	各課題に対し、多面的に考察するとともに、考えを論理的に組み立てる力を身につけており、かつ、その考えを適切に表現・発表できる。
技能	各課題に対し、その内容を的確に把握し、論理的に自分の考えを表現することができる。 プレゼンテーションの方法および技術が身についている。
知識・理解	各課題に対する正確な知識を持ち、論点を正確に理解することができる。

このため、評価は具体的には次のものを対象とする。

- ・学習への参加状況（出席状況、目的意識、学習意欲・態度等）
- ・コラム・社説などのプリントやその他授業内で取り組んだすべての課題
- ・プレゼンテーションおよびディベートの評価

また、1年間の成績評価・評定は、年間を通じて、上記の内容等により総合的に判断して決定する。

#### 6 担当者からのひとこと

「時事研究」ではディベートを通じ、論理的思考力を向上させることを目標としています。ディベートを実施するためには知識が必要です。日頃から新聞・ニュースなどを活用し、自発的に知識の収集に努めてください。

# 令和2年度シラバス（商業）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	商業（課題研究：ケーススタディ）	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（商業関連学科）
使用教科書					
副教材等	各新聞のスクラップ資料 適宜プリント等の配布				

## 1 学習目標

商業の各分野に関する知識と技術を実践的活動を通して総合的に習得し、課題分析能力・情報収集能力・意志決定能力・コミュニケーション能力の向上を目標とする。

## 2 指導の重点

経済やビジネスに関するテーマや課題を設定し、情報収集し幅広い知識と柔軟な思考力を身につけ、文章化し表現する能力の育成をめざす。また、コンピュータの実践的な活用を通して、情報化社会に対応するべく情報収集・発信力の育成をめざす。

1. 文章力基礎作り：コラムと論説より文章に慣れ、読み取る・書く力を定着する
2. 調査研究：書籍などから情報収集能力・意思決定能力を身につける
3. プレゼンテーション：調査研究から課題を分析し、発表する場面でのコミュニケーション能力の向上をはかる
4. 卒業レポート：進路分野や興味関心のある分野の現状を把握し、課題解決のための方策を検討する

## 3 学習計画

学期	月	学習内容	時間
1学期	4	・オリエンテーション ・文章力の基礎作り（コラムと論説）	38
	5	・入門（信濃毎日新聞・福島民友新聞コラムより書き写し、状況への考えをもつ）	
	6	・演習入門（京都新聞・西日本新聞コラムより読む力や書く力、考える力を養う）	
	7	・演習レベルⅠ～Ⅲ（新聞社7社のコラムから実践力を定着させる）	
2学期	9	・論説演習レベルⅠ～Ⅲ（新聞社4社の論説より実践力から記述問題に取り組む） ・入試問題レベル（東北学院大学・和洋女子大学・埼玉大学の過去問題を検討する）	44
	10	・レポート作成（少子化・グローバル化・地域活性化・社会福祉について）	
	11	・卒業プレゼンテーション準備	
	12	・調査研究（政治・経済・医療・社会学など関心ある分野の調査研究） 研究後、レポートや発表資料を作成しプレゼンテーションなどにより情報発信 ・卒業プレゼンテーション発表	
3学期	1	・卒業レポート作成、提出	30
	2		
	3		

#### 4 課題・提出物等

- ・各課題について締め切りを設け提出する。
- ・各レポート、調査研究、卒業プレゼンテーションについては、各自計画を立案する。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

観点	趣 旨
関心・意欲・態度	ビジネスの諸活動に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスに対する望ましい心構えや実践的な態度を身につけている。
思考・判断・表現	ビジネスの諸活動に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本手金知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。また、その成果を適切に表現する。
技能	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動を合理的に計画し、適切に処理する。
知識・理解	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、ビジネスの意義や役割を理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・授業で活用するプリント
- ・学習への参加状況 (学習日誌)
- ・提出されたレポート
- ・プレゼンテーション
- ・卒業論文

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

#### 6 担当者からの一言

これまで学んだ知識を最大限に活用し、調べる・書く・報告するということを徹底的に行い、読み取る能力・書く能力を最大限に伸ばします。また、プレゼンテーションを実施することで、コミュニケーション能力の向上をめざします。

# 令和2年度シラバス（商業）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	商業（課題研究：ビジネスマナー）	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（商業関連学科）
使用教科書					
副教材等	秘書検定クイックマスター3級・2級（実務技能検定協会）				

## 1 学習目標

1. 社会人として基本的な礼儀や気配り等、資質向上を目指す。
2. 敬語の使い方、文書の書き方、電話の応対など本講座では、社会に出てから基本となるビジネスマナーを学習する。
3. 秘書検定2級取得を目指す。

## 2 指導の重点

- 社会人として必要な資質とは何かを理解させ、仕事に対する責任感と協調性を養い、自己を管理し業務に支障が生じない生活態度が送れるよう指導する。
- 自己を啓発し、向上心を持ち取り組む資質を養う。
- 社会人として必要な基本技能や一般常識を習得させる。

## 3 学習計画

学期	月	学 習 内 容	時間
1学期	4	○ 社会人として必要とされる資質 ・職業人としての自覚と心構え ・求められる能力	38
	5	○ 社会人として必要な職務知識・一般知識 ・上司の職務と秘書の職務 ・企業と経営、企業活動 ・社会常識	
	6	○ 社会人としてのマナー、接遇（その1） ・人間関係と話し方、聞き方 ・話し方、聞き方の応用 理解度確認小テスト	
	7	○ 社会人としてのマナー、接遇（その2） ・電話応対と接遇 夏休み宿題	
2学期	9	○ 社会人としてのマナー・接遇（その2） ・交際	44
	10		
	11	○ 社会人として必要な技能 ・会議の知識 ・ビジネス文書の作成 ・文書の取り扱い ・文書、資料管理 ・日程管理とオフィス管理 理解度確認小テスト ○ ロールプレイング ・電話応対、来客応対	
	12		
3学期	1	○ ビジネスマナーについてのまとめ ・自由課題により、レポート作成	30
	2		
	3		

計 112時間（47分授業）

#### 4 課題・提出物等

- ①学期ごとの理解度確認テスト
- ②1・2学期の模擬試験
- ③レポート
- ④課題

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 勤労観、職業観を確立するため、社会人としての資質を理解しようとしているか。</li><li>・ ビジネスマナーに興味関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。</li></ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社会人としての資質を理解し、職業人としての自覚と心構えを積極的に吸収しようと努力している。</li><li>・ 職業人としてのマナーを身に付け、適切な対応ができています。</li><li>・ 自らを理想の職業人に近づけるため、学習を通して思考している。</li><li>・ 日常の中で実践できている。</li></ul>
技能	<ul style="list-style-type: none"><li>・ あいさつ、接遇のマナーなどの社会人としての基本的な資質を再現できる力を身に付けている。</li><li>・ 文書処理並びに整理、冠婚葬祭、電話対応、接遇などビジネスマナーの技能を身に付けている。</li></ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社会人として必要な職務知識、一般知識を理解している。</li></ul>

評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・ 理解度確認テスト成績
- ・ 模擬試験成績
- ・ 提出物（レポート・課題）
- ・ 学習への参加状況

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

#### 6 担当者からの一言

職業人として必要とされる資質・職務知識・一般知識・マナーや接遇・技能を身に付けるために学習する講座です。職業人として必要な内容ではありますが、一般社会人としての常識、マナーともいえる内容も含まれています。そして、企業にとって、ビジネスマナーを身に付けた人材を採用することは、大きな収穫であろうと考えられます。マナーは自然に身につくものではありません。常に意識して行動し、ビジネスマナーを自分のものにして欲しいものです。

# 令和2年度シラバス（商業）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	商業（課題研究：ビジネス会計）	単位数	2単位	学年（コース）	3年（商業関連学科）
使用教科書					
副教材等	全商会計実務検定に関するテキスト・問題集 日商簿記2級に関するテキスト・問題集 日商1級に関するテキスト・問題集 全経簿記上級に関するテキスト・問題集 その他自分が学習する内容のテキスト・問題集 等				

## 1 学習目標

これまでの簿記関連科目で学んできた基礎的な知識と技術を発展させ、今日の複雑な取引慣行や企業活動に対応するような実践的な能力を身につけることを目標とする。

- 1 簿記会計分野について、各自が課題を設定してその研究に取り組む。
- 2 進路を実現するために必要な資格取得について、各自が目標を設定し、上級の資格取得に積極的に取り組む。

## 2 指導の重点

- ① 各自が、年間を通しての学習計画を立てさせ、研究課題および、達成目標とする資格取得を明確にする。
- ② 自己の進路実現に向けての対策を提示し、必要な知識・技能を高めて上級の資格が取得できるよう指導する。

## 3 学習計画

学 期	月	学習内容	時間
1学期	4	1. 簿記の全体的な流れの確認	38
		2. 各自が、年間を通しての学習計画を立て 研究課題および、目標とする資格取得を明確にする。	
	5	3. 各自の達成目標に応じた学習	
	6	4. 検定試験の受験	
	7	5. 今後の学習計画の再確認をする。	
2学期	8	1. 将来の目標の実現に向けての対策を立て、必要な知識・技能を高める。	44
	9	2. 各自の達成目標に応じた学習	
	10	3. 検定試験の受験	
	11	さらに上級の内容への取り組み	
12	4. 今後の学習計画の再確認をする。		
3学期	1	1. 各自の達成目標に応じた学習	30
	2	2. 1年間の総括 3. 検定試験の受験	

計112時間（47分授業）

## 4 課題・提出物等

問題集・プリント等を提出してもらったことがあります。  
毎学期各自の毎時時間の学習内容と反省等を記録した物

## 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	・「ビジネス会計」の内容に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	・「ビジネス会計」に関する基礎的・基本的内容を身につけ、それを活用して、適切な判断ができるような創意工夫する能力を身につけ、その成果を適切に表現できる。
技能	・「ビジネス会計」の内容を的確に把握し、基礎的・基本的な技術を身につけている。
知識・理解	・「ビジネス会計」に関する基礎的・基本的知識を身につけ、一連の内容を理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・授業で行う小テスト（必要に応じて行う）
- ・授業で活用するプリント
- ・課題や問題集などの提出物
- ・学習への参加状況
- ・検定試験の受験・結果

また、1年間の評価は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

## 6 担当者からの一言

3年次の課題研究における「ビジネス会計」は、各自が、年間を通しての学習計画を立て、達成目標とする資格取得を明確にする必要があります。そのためには1. 2年次の簿記関連科目の基礎知識が必要となりますので、しっかりとした基礎・基本を身につけておいてください。

また、進路に応じて資格取得のみならず、センター試験対策（簿記）も学習することも可能であるため、早めに進路希望を明確にしてください。

# 令和2年度シラバス（商業）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科(科目)	商業(課題研究:経営情報科学)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年(商業関連学科)
使用教科書					
副教材等	Javaプログラミング(インフォテック・サーブ)				

## 1 学習目標

エンドユーザコンピューティング(EUC)のリーダー的な役割を学ぶ。  
経済システムの構造を学び、シミュレーションを使った経済活動を体験する。

## 2 指導の重点

- ・エンドユーザコンピューティングの理解を深め、プログラム言語を学びアプリケーションを作成する。
- ・情報化社会の研究を通じて、主体的に経済システムを考えることのできる能力を身に付けさせる。

## 3 学習計画

学期	月	学習内容	時間
1学期	4 5 6 7	1. 情報システム構築支援 (1)情報システムの一般知識・(2)情報システムの開発・(3)ユーザ要求定義・(4)テストと移行 2. 情報システムの運用と整備 (1)情報整備の導入・(2)情報設備の設定・(3)知的所有権とコンピュータ犯罪への配慮 (4)情報設備の管理・(5)障害対策と監視 <授業時にテスト> 3. ネットワーク (1)ネットワークの仕組み・(2)LANの通信方式・(3)インターネットの動作原理 4. マルチメディアの活用 (1)マルチメディアの要素技術・(2)Web管理 5. 業務と業務改善 (1)組織体と業務活動・(2)業務活動のモデル化技法・(3)問題発見の技法 <授業時にテスト>	38
2学期	9 10 11 12	総合演習 <授業時にテスト> 興味を持ったテーマ研究を進める。プログラム設計やアプリケーション開発など。 ・研究レポートの作成	44
3学期	1 2 3	研究レポートの作成 研究成果の発表(プレゼンテーション)	30

計112時間(47分授業)

#### 4 課題・提出物等

経済・経営に関する課題（アプリケーション）の作成  
ノート・プリント等の提出

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	企業の経営活動に関心を持ち、情報システムを活用し、業務の合理化を主体的、積極的に行い、職場のリーダーとなる意欲と態度を持ち、さまざまな企業のビジネスケースを探求しようとする。
思考・判断・表現	エンドユーザコンピューティングに対して、自ら思考を深め、基礎的・基本的知識と技術を活用して、創意工夫する能力を身に付け、表現できるか。
技能	企業の経営活動を理解し、ビジネスにおける情報活用に必要な、情報の分析、システムの開発、ネットワークの構築などの技能を身につけている。
知識・理解	エンドユーザコンピューティングの理解を深めている。 経済システムの構造を理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・授業中に行う小テスト
- ・授業で活用するプリント
- ・学習への参加状況
- ・課題レポート

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

#### 6 担当者からの一言

経済の仕組みをさまざまなシミュレーションを通して研究していき、プログラム言語を使ってアプリケーションを作成することで、主体的に経済や企業の経営を考えて欲しいと思います。

# 令和2年度シラバス（商業）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	商業（課題研究：公共サービス）	単位数	2単位	学年（コース）	3学年（商業関連学科）
使用教科書					
副教材等	なし（各自参考書等購入）				

## 1 学習目標

我が国や地域における公共の福祉やサービスの現状と課題、その解決策等を考察し、全体の奉仕者としての資質・能力を養う。

## 2 指導の重点

- ・公共の福祉やサービスとはどうあるべきか、課題は何であるかを、自ら考えさせるよう指導する。
- ・自らの考えを伝えるためのプレゼンテーション能力を身につけられるよう、指導・支援する。

## 3 学習計画

学期	月	学習内容	時間
1学期	4	1 公共の福祉やサービスの現状や求められる資質・能力を考察	38
	5		
	6	2 公共の福祉やサービスの課題や解決策を考察	
	7		
2学期	9	3 プレゼンテーション能力を身につけるための取り組み	44
	10		
	11	4 レポート作成 ・公共の福祉やサービスに関するレポート作成 ・自由課題レポート作成	
	12		
3学期	1	4 レポート作成 ・自由課題レポート作成・発表	30
	2		
	3		

計 112時間（47分授業）

## 4 課題・提出物等

模擬試験（1学期）・面接問答集（夏休み）・レポート（2学期・3学期）

## 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	公共の福祉やサービスに対する関心を持ち、努力を続けている。
思考・判断・表現	様々な課題を主体的に考えるための基礎的・基本的知識を身につけるための創意工夫ができる。また、取り組んだ課題や解決策を表現できる。
技能	自らの考えを伝えるためのプレゼンテーション能力を身につけている。
知識・理解	公共の福祉やサービスの現状や課題について理解している。

評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・ 模擬問題成績
- ・ 提出物（面接問答集・レポート）
- ・ 学習への参加状況

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

## 6 担当者からの一言

公共の福祉やサービス、全体の奉仕者への思いが強い人たちが集まり、一生懸命頑張っています。学習内容は難しいかもしれませんが、最後まであきらめなくて頑張ることが大切です。

# 令和2年度シラバス（商業）

学番9 新潟県立新潟商業高等学校

教科（科目）	商業（課題研究：ビジネス英語）	単位数	2単位	学年（コース）	3年（商業関連学科）
使用教科書					
副教材等	『DU03.0』 アイシーピー 『全商英語検定1級問題集』実教出版 学習プリントなど				

## 1 学習目標

<p>(1) 時事問題に関する英文を通して理解する能力を高める。そのための一定水準の単語力・文法力をつける。</p> <p>(2) 大学推薦入試および一般入試の英文読解力をつける。</p> <p>(3) 推薦条件となる実用英語技能検定(STEP) 2級または準2級、及び全商英語1級の取得。</p>
---

## 2 指導の重点

<p>(1) 英語学習習慣の確立のため、毎時間英単語テストを実施する。</p> <p>(2) 各自の英語検定の取得目標を明確にする。</p> <p>(3) 自己の進路実現に向けての対策を提示し、必要な知識・技能を高めて上級の資格が取得できるよう指導する。</p>
---

## 3 学習計画

学 期	月	学習内容	時間	
1学期	4	単語・熟語集 DU03.0 SECTION 01-23 TEST(7月まで) 実用英検2級・準2級の学習 第1章 単語・熟語 第2章 文法 第3章 会話表現 第4章 作文 第5章 読解 第6章 リスニング 第7章 面接	38	
	5			
	6			
	7			
2学期	9		単語・熟語集 DU03.0 SECTION 24-32 TEST(12月まで)	44
	10			
	11			
	12			
3学期	1	単語・熟語集 DU03.0 SECTION 33-36 TEST(2月まで)	30	
	2	オリジナル英語参考書作成（卒業課題）		

計112時間（47分授業）

#### 4 課題・提出物等

問題集・プリント等を提出してもらいます。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	・「ビジネス英語」の内容に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	・「ビジネス英語」に関する基礎的・基本的内容を身につけ、それを活用して、適切な判断ができるような創意工夫する能力を身につけている、その成果を適切に表現できる。
技能	・「ビジネス英語」の内容を的確に把握し、基礎的・基本的な技術を身につけている。
知識・理解	・「ビジネス英語」に関する基礎的・基本的知識を身につけ、一連の内容を理解している。

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

- ・毎時間授業で行う DUO 3. 0小テスト
- ・実用英検用単語小テスト
- ・授業で活用するプリント
- ・課題や問題集などの提出物
- ・学習への参加状況

また、1年間の評定は、1学期から3学期の年間を通じて、上記の内容及び出席状況により総合的に判断して決定します。

#### 6 担当者からの一言

毎時間授業の中で単語・熟語集 DUO 3. 0小テスト、また実用英検取得を目指し、受験級ごとに単語テストを実施します。

1日の中で学習時間を確保し、繰り返し単語を着実に学習することが大切です。

また、ビジネス英語の学習を通して国語・小論文の学力も高めましょう。